

第五十二回帝國議會
衆議院

河川法中改正法律案委員會會議錄(速)第五回

付託議案
河川法中改正法律案(政府提出)

會議

昭和二年二月九日(水曜日)午後一時十八分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 神谷 彌平君

理事 加藤 知正君

傳田 清作君 竹原 樸一君

寺田 市正君 小島 善作君

富永孝太郎君

出席政府委員左ノ如シ

內務政務次官 俵 孫一君

內務參與官 鈴木富士彌君

農林政務次官 小山 松壽君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

藤田胸太郎君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

河川法中改正法律案(政府提出)

○神谷委員長 前回ニ引續キマシテ是ヨリ開會致シマス

○加藤委員 前回ニ於キマシテ質問ヲ打切ルコトニ致シマシタケレドモ、尙

ホ相當質問モアリマスヤウデゴザイマスルカラ、茲ニ改メテ質問ヲ致スコト

ニ致シタウゴザイマス、皆サンニ御諮リヲ願ヒタウゴザイマス

○神谷委員長 只今加藤君ヨリ申出ニ依リマスル御意見ニ御異議ゴザイマセヌデスカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○神谷委員長 御異議ナケレバ更ニ質問ヲ致スコトニ決定致シマス

○寺田委員 私ハ尙ホ二三點質問ヲシタイ事項ガアルノデアリマス、尤モ一

般的ノ問題デナク、特殊ナ問題デアリマスカラ、本案ニ直接ノ關係ハゴザイ

マセヌデセウケレドモ、九州全體ニ互リマシタ河川デ、此河川法ノ管轄スル

河川ノ名前ヲ御伺シタイノデアリマス、ソレカラ其河川中デ、第一期河川改修

工事ニ屬シタモノト、第一期河川改修工事ニ屬セナイモノトヲ區別シテ御示

シヲ願ヒタイ、第二ニ、第一期ノ河川工事ニ屬セザル所ノ河川中ノ各損害額ニ

付テノ御調査ヲ御示シ願ヒタイ、ソレハ若シ御手許ニゴザイマスナラバ、既

往五年ナリ十年ナリノ平均ニ依リマシタモノデ宜シウゴザイマス、ソレカラ

第三點ニハ、其損害調査ノ基本トモ云フベキモノデアルガ、如何ナル標準ニ

依テ其損害額ヲ算出セラレルカニ付テ、概略ノ御説明ヲ御願ヒシタイノデアリ

マス、例ヘバ國ノ營造物、若クハ地方廳ノ營造物等ノ損害、堤防トカ、橋梁トカ

云フヤウナモノ、損害高ノミニ依ルノカ、若クハ洪水氾濫ノ場合ニ浸水シタ

モノハ、總テ損害トシテ調査セラレルノカ、或ハ堤防等ノ破壊ノ爲ニ土砂ヲ

田畑等ニ持込ンデ、其爲ニ其土地ノ農作物ガ無收穫ニナッタ場合、若クハ其後

ニ於ケル田畑ノ使用ニ堪ヘナカッタト云フヤウナ場合、サウ云フ細ミシキ例

ガ何レニカゴザイマスナラバ、サウ云フ點ニ付テ其損害ノ計算ノ標準ヲ御示

シヲ願ヒタイノデアリマス、第四點トシマシテハ、河川ハ申スマデモナク其

上流若クハ沿岸ノ森林ト非常ナル關係ガアリマスガ、損害ノ多イ河川ニ關シ

テ、其上流若クハ沿岸ノ森林等ニ對シテハ、或ハ森林政策上相當ノ施設ヲサ

レテ居ルモノデアアルカドウカ、例ヘバ保安林トカ風致林トカ云フヤウナモノ

ヲ設定ヲシテ、河川ノ氾濫ヲ防グト云フヤウナ事ニ付テノ相當ノ調査ト施設

ヲ爲シテ居ラシヤルノデアアルカドウカ、同時ニ河川ノ河口ハ大概港灣デア

リマス、河口ハ港灣ニナッテ居ルノガ多イト思ヒマスガ、船著場所トカ、特殊ノ

施設ヲシナイ港灣ニ對シテモ、何等カサウ云フ舟楫ノ碇泊、寄航地ニ致シテ

居リマスガ、サウ云フ方面トノ關係ハ、港灣ナラバ全然港灣ノ方ノ關係デ管掌

サレルノデアアルカ、ソレトモ矢張河川法ニ依テシテ居ラレルノデアアルカ、其

區別ニナッテ居ルモノガアレバ、其區別ニ依テ河川ニ付テノ御説明ヲ願ヒタイ

ノデアリマス、先ヅ大體是ダケヲ御質

問申上ゲマス

○鈴木政府委員 只今ノ寺田市正君ノ御質問ハ、大分微細ノ點ニ互ッテ居リマシテ、或ハ私デハ答辯致シ兼ねル技術

上ノ事モ多少アルヤウデアリマスカラ、大體ダケヲ御答申上ゲマス、九州ノ河

川ノ中デ、第一期川ニ屬スルモノハ綠川ト遠賀川デアリマス、此中遠賀川ハ

既ニ工事ガ竣工致シマシタ、綠川ハ目下工事中デアリマス、第二期川ハ總ジ

テ五十七河川デ、既ニ治水事業費豫算ニ計上セルモノガ九川ゴザイマス、即

チ目下工事中ノモノガ九ツアル中デ、九州ニ屬スルモノハ筑後川デアリマス、

ソレカラ一旦改修計畫ノ調査ガ完了致シマシタガ、半途大震災ノ爲ニ書類

ガ焼失致シマシテ、更ニ再ビ調査ニ著手致シマシタガ、其中鹿児島縣ノ川内

川ハ略調査ガ完了致シマシタ、ソレカラ現ニ目下調査中ノ河川ガ十三ゴザ

イマス、其中九州ニ屬スルモノハ、曰ク肝屬川、曰ク大淀川、大淀川ハ調査ガ昨

年完了致シマシタ、是ハ本年ノ豫算ニ計上ヲ致シマシタ、ソレカラマダ調査

ニ著手シナイモノハ二十七河川アリマス、其中九州ノモノハ、曰ク白川、曰ク

大分川、大體斯ウ云フ程度ニナッテ居リマス、尙ホ洩レタモノモアルカ知レマ

セヌガ、洩レタラ後デ追加ヲ致シマス、

ソレカラ各河川ノ損害ノ程度デアリマ
スガ、損害ノ程度ヲ詳シク書キマシタ
書類ハ只今手許ニアリマセヌ、是ハ非
常ニ複雑ナ計數ニナラウト存ジマス、
大體ニ於キマシテ河川ヲ改修スル場合
ニハ順位ヲ定メナケレバナリマセヌ、
其順位ヲ定メルニハ、ドウシテモ水害
ノ損害ノ程度ヲ定メナケレバナリマセ
ヌ、其損害ノ程度ハ、此所デ數字デ示ス
ト云フコトハ致シ兼ネマスルガ、先ヅ
水害ノ區域ヲ調べマシテ、更ニ其區域
ノ中平地面積ハドレダケアルカト云フ
コトヲ調べマシテ順位ヲ定メマス、而
シテ更ニ其水害ヲ被リマシタ所ノ土地、
其他農作物等ヲ金高デ算出致シマシタ
順位ト云フモノヲ同時ニ定メナケレバ
ナリマセヌ、是等ノ順位ヲ互ニ比較研
究ヲ致シマシテ、所謂綜合順位ト云フ
モノヲ更ニ定メマシテ、而シテ其上ニ
治水費ガ幾ラ掛ルカ、更ニ縣ノ負擔能
力ガドレダケアルカト云フコトモ定メ
ナケレバナリマセヌシ、又此地方ニ於
テドレダケ國ノ費用ガ掛ッテ居ルカ、他
ノ地方ニ比シテ果シテ權衡ガ取レテ居
ルヤ否ヤト云フコトモ考ヘマシテ、治
水ノ順序ヲ決メルノデアリマスカラ、
可ナリ複雑ナル程度ニナツテ居リマス、
金高ハ一寸九州ノモノダケヲ抜クト云
フコトガ甚ダ困難デアリマスルガ如何
デゴザイマセウカ、寺田サン後デ一寸
御覽下サイマシタナラバ如何ナモノデ
セウカ、凡ソ河ダケハ抜イテアリマス

ノデ直グ分リマスガ、地方別ニモナツテ
居リマセズ、損害高ニモハッキリナテッ
ハ居ラヌ筈デアリマス、主ニ御調ニ御
必要ナノハ川内川、デゴザイマセウガ
——サウ申シテハ甚ダ失禮デゴザイマ
スガ
○寺田委員 川内川、大淀川、肝屬川ニ
付テノ……
○鈴木政府委員 ソレハ後デ書抜イテ
御手許ニ差上ゲマセウ
○寺田委員 ソレカラ今年砂防工事デ
ナクテ河身改修ノ方ニ關シタ新シイ豫
算ニ出テ居ルノハ幾ツアルノデスカ
○鈴木政府委員 新シイ川ヲ本年追加
致シマシタノハ静岡縣ノ狩野川ト、ソ
レカラ宮崎縣ノ大淀川此二箇川デアリ
マス、ソレカラ只今一番最後ニ御尋ノ
森林政策ニ關スルコトデアリマスガ、
此水源地ナドノ荒廢ニ關シマシテハ内
務省トシマシテハ砂防工事、森林ニ關
スルコトハ農林省ノ所管デソレハ遣ッ
テ居リマス、此點ニ付キマシテハ農林
省モ非常ニ力ヲ盡シテヤッテ居ルヤウ
ナ模様デアリマスカラ、左程御心配ナ
サル程ノコトモナイト思ヒマスガ、尙
ホ不十分ナ點ハ御督勵ヲ願ヒマス、ソ
レカラ河口ノ事デアリマスガ、是ハ御説
ノ通りニ港ヲ造ルト云フコトニナレバ
港灣課ノ係リノ方デ遣ルノデアリマス、
港灣課ノ係リノ方デ遣ルニハ遣リマス
ケレドモ、河口ニ港ヲ造ル爲ニ其河川
ガ多少共影響ヲ蒙リマス、サウ云フ設

計ノ仕方デハ困ルトカ、斯ウシテ貰ハ
ナケレバ困ルトカ云フヤウナ意見ハ河
川課ニ於テ出ス譯デアリマス、所ガ普
通ノ小港ハ御承知ノ如ク内務省ノ所管
デアリマシテ、同ジ土木局ノ中ノ港灣
課ト河川課デアリマスカラ、話合ハ直
グ著クノデアリマス、唯困ルノハ漁港
デアリマス、漁港ハ農林省デ遣ッテ居リ
マス爲ニ農林省ノ「デザイン」ガドウモ
此川ノ治水上ニ非常ニ影響スルト云フ
トキニ、コチカラ多少注意モシ、抗議
ヲ申込ムト云フヤウナ場合ガアルノデ
アリマスカレドモ、其時分ニオトナシ
クコチラノ意見ヲ聽イテ呉レ、バ宜シ
イノデスガ、サウデナイ時分ニハ多少
混雜ヲ來スコトガアル、是ニ於テカ漁
港ノ撰擇ダケハ農林省デ遣ッテモ宜イ
ガ、工事ハ内務省ノ方ニ任シテ貰ヒタ
イト云フヤウナ意見モ出テ來ル譯デア
リマス、只今ハ其程度ニハ至ッテ居リマ
セヌ、左様御了承ヲ願ヒマス

テ居ッテノ調査會ト思ヒマスガ、左様ナ
コトニナツテ居リマセヌデスカ、其點ヲ
御伺ヒシテ置キタイ、ソレカラ損害額
ノ算出ノ基礎ガドウモ素人ノ私ニハハッ
キリ分リ兼ネマスデスガ、ドウ云フ所
デ年々ノ損害額ガ幾ラアルト云フヤウ
ナコトヲ御算出ニナルカト云フコトヲ
今少シク御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス
○鈴木政府委員 治水調査會ト云フモ
ノハ只今廢セラレテ、無イヤウデアリ
マス、色々ナ調査會ガ一時澤山アリマ
シタガ、行政調査會ノ時分ニスッカリ十
把一束的ニ廢シテシマッタ、ソレカラ緊
急已ムベカラザルモノダケヲ復舊デハ
ナイ別ニ拵ヘタ譯デアリマス、ソレハ
港灣調査會ト云フモノガ出來テ居リマ
ス、是モ臨時ト云フ名ヲ冠シテ居リマ
ス、其外ニ土木ニ於キマシテハ調査會
ハナイヤウニ記憶シテ居リマス、ソレ
カラ損害額ノ算定ノ事ハ是ハドウモ一
寸技術者デナイト分リ兼ネマスカラ、
又模様ニ依リマシテハ技術者ヲ一ツ呼
ンデモ宜シウゴザイマス

○寺田委員 ソレデハ此九州ノ第一期
第二期河川以外ノ河川ニ付キマシテノ
損害調査ニ付キマシテハ、後刻政府委
員カラ表ヲ戴クト云フコトニ御願ヒ致
シテ置キマス

○神谷委員長 竹原サンハ内務省所管
デ宜シケレバ、今加藤君ガ見エマセヌ
カラアナタガ御質問ナスッテモ宜シイ
ト思ヒマス

○寺田委員 森林政策上砂防計畫ナド
ニ關シマシテ農林省ノ方ノ御意見モ此
際御伺ヒシタイト思ッテ居リマスカラ、
農林省ノ政府委員ノ御出席ヲ願ヒタイ
ト存ジマス——尙ホ内務省政府委員ノ
方ニ御尋致シマス、内務省ニアリマス
治水調査會トカ治水協會トカ云フモノ
ハ、公設ノモノデアリマスカ、アレハ矢
張森林ヲ度外視シテノ治水調査會ト云
フノモオカシイト思ヒマスガ、無論農
林省ノ森林政策ニ關シタ權威者ガ加ッ

○寺田委員 森林政策上砂防計畫ナド
ニ關シマシテ農林省ノ方ノ御意見モ此
際御伺ヒシタイト思ッテ居リマスカラ、
農林省ノ政府委員ノ御出席ヲ願ヒタイ
ト存ジマス——尙ホ内務省政府委員ノ
方ニ御尋致シマス、内務省ニアリマス
治水調査會トカ治水協會トカ云フモノ
ハ、公設ノモノデアリマスカ、アレハ矢
張森林ヲ度外視シテノ治水調査會ト云
フノモオカシイト思ヒマスガ、無論農
林省ノ森林政策ニ關シタ權威者ガ加ッ

○寺田委員 森林政策上砂防計畫ナド
ニ關シマシテ農林省ノ方ノ御意見モ此
際御伺ヒシタイト思ッテ居リマスカラ、
農林省ノ政府委員ノ御出席ヲ願ヒタイ
ト存ジマス——尙ホ内務省政府委員ノ
方ニ御尋致シマス、内務省ニアリマス
治水調査會トカ治水協會トカ云フモノ
ハ、公設ノモノデアリマスカ、アレハ矢
張森林ヲ度外視シテノ治水調査會ト云
フノモオカシイト思ヒマスガ、無論農
林省ノ森林政策ニ關シタ權威者ガ加ッ

○寺田委員 森林政策上砂防計畫ナド
ニ關シマシテ農林省ノ方ノ御意見モ此
際御伺ヒシタイト思ッテ居リマスカラ、
農林省ノ政府委員ノ御出席ヲ願ヒタイ
ト存ジマス——尙ホ内務省政府委員ノ
方ニ御尋致シマス、内務省ニアリマス
治水調査會トカ治水協會トカ云フモノ
ハ、公設ノモノデアリマスカ、アレハ矢
張森林ヲ度外視シテノ治水調査會ト云
フノモオカシイト思ヒマスガ、無論農
林省ノ森林政策ニ關シタ權威者ガ加ッ

○寺田委員 森林政策上砂防計畫ナド
ニ關シマシテ農林省ノ方ノ御意見モ此
際御伺ヒシタイト思ッテ居リマスカラ、
農林省ノ政府委員ノ御出席ヲ願ヒタイ
ト存ジマス——尙ホ内務省政府委員ノ
方ニ御尋致シマス、内務省ニアリマス
治水調査會トカ治水協會トカ云フモノ
ハ、公設ノモノデアリマスカ、アレハ矢
張森林ヲ度外視シテノ治水調査會ト云
フノモオカシイト思ヒマスガ、無論農
林省ノ森林政策ニ關シタ權威者ガ加ッ

○寺田委員 森林政策上砂防計畫ナド
ニ關シマシテ農林省ノ方ノ御意見モ此
際御伺ヒシタイト思ッテ居リマスカラ、
農林省ノ政府委員ノ御出席ヲ願ヒタイ
ト存ジマス——尙ホ内務省政府委員ノ
方ニ御尋致シマス、内務省ニアリマス
治水調査會トカ治水協會トカ云フモノ
ハ、公設ノモノデアリマスカ、アレハ矢
張森林ヲ度外視シテノ治水調査會ト云
フノモオカシイト思ヒマスガ、無論農
林省ノ森林政策ニ關シタ權威者ガ加ッ

○竹原委員 私ハ參與官デモ結構デア
リマスガ、見エラレルナラバ……

○神谷委員長 ソレデハ委員長ノ許可
ヲ以テ委員外ノ藤田胸太郎君

○藤田胸太郎君 私ハ此河川法ノ提案
ニ付キマシテハ、極ク直接ノ關係デナ
イガ、多少ノ關係ヲ持ッテ居リマスカラ、
大體分科會デ質問シテ見ヤウト思ッテ
居リマシタガ、遂ニ其機會ヲ得マセヌ
デゴザイマシタカラ、此處デチヨット御
願ヒラシテ質問シテ見タイト思ヒマス、
極ク局部的デアリマスカラ、ソレモ御
諒承ヲ願ヒマス、大體河川ノ改修ニ付
キマシテ——富士川ノ改修工事ニ付キ
マシテ質問ヲ致シマス、是ハ大正九年
ニ御承知ノ如ク、十年計畫デ大正十八
年ニ竣工スルト云フ繼續事業デアリマ
シタノヲ、十二年ノ大震災後ニ之ヲ二
箇年延長シマシテ、當時工事費ガ富士
川改修ト致シマシテ九百萬圓ノモノヲ、
物價騰貴、色々ノ事情ノ爲ニ千二百萬
圓ニ増額シタヤウニ記憶シテ居リマス、
ソレヲ十三年ニ至リマシテ、又大正二
十五年ト延長セラレマシタ、是モ國ノ
財政上據ロナイコトニハ相違アリマセ
ヌ、御承知ノ如ク私ノ縣ノ富士川ナル
モノハ、縣唯一ノ大河川デアリマシテ、
從テ水害等ノ度モ——全國ニ比類ノナ
イ急勾配ノ爲ニ水害ヲ受ケマシテ、殊
ニ明治四十年、四十二年ノ如キハ、國庫
カラ特殊ノ御配慮ヲ受ケタヤウナ次第
デ、從テ其後山梨縣ノ狀態ヲ、明治天皇

ニハ憐憫ニ御思召サレテ、御料地三十
萬町歩ヲ御下賜相成リ、而シテ之ヲ國
土保安ノ爲ニセイト云フ有難キ御思召
ヲ受ケタノデアリマス、右様ノ次第デ、
十八年ニハ大體ニ於キマシテ、山梨縣
分、靜岡縣分モ竣工スルコトニナリマ
シタノガ、二十年ニ繰下ゲ、又二十五年
ニ繰下グラレタ、而シテ其工事ハ十五
年度ハマダ工事中ノモノガアリマスガ、
十四年度マデニ於キマシテ、約二百七
十萬圓程山梨縣分ニ於テ費シ——其中
他ノ八十萬圓ヲ引キマスト百九十萬圓
程費シテ居リマスガ、ソレハ富士川河
流ニ於テ是非共急ニ改修スベキ所ノ場
所デアアル、而シテ最モ山梨縣民ト致シ
マシテ、一日モ安ジテ居ラレナイノハ、
其工事ガ半バニナッテ居ルノデアリマ
ス、或所ニ堤防モ出來マシテ——所々
ニ堤防モ出來テ居ルガ、肝腎ノ排水路
モ出來ナイヤウナ狀態ニアリマスルノ
デ、素人ノ縣民ト致シマシテ、非常ニ不
安ノ念ニ驅ラレテ、若シ、四十年、四十
三年ノ如キ大水害ガアリマシタナラバ、
山梨縣ノ中部ハ如何ニナルカト云フヤ
ウナ觀念ヲ始終抱イテ居ルノデアリマ
シテ、之ヲ心配スル結果トシテ、昨年私
立ノ治水會モアリマスノデ、其會モ縣
會モ殘ラズ協議會ヲ開キマシテ、内務
省ニ陳情シ、大藏省ニモ陳情シテ、私モ
御伴ヲシタ譯デアリマス、富士川ニ關
スル關係ダケヲ考ヘテ見マスルト——
愚見ヲ申上ゲマスレバ、此儘放ッテ置ケ

バ、折角拵ヘタ堤防モ破壊サレテシマ
フ、ソレデ御伺ヒシタイノハ、ソレ迄ニ
縣ノ分擔額ガ、割合ニ多ク内務省カラ
命ゼラレルヤウニ思ッテ居ル、是ハ其當
時ノ有様カラ、サウ云フコトガ内規ニ
ナッテ居ルヤウニ思ヒマス、是ガ若シ現
在ノ儘デ、四十年、四十三年ノ如キ大水
害ニ遭ヒマシタトキニ、又元ノ通り縣
ニ澤山ノ分擔ヲサセナケレバ是ガ改修
ガ出來ナイノデアリマセウカ、ソレハ
サウ云フ場合ニハ延バシテ置ク位ダカ
ラ、國庫ノ方デ皆負擔シテ下サルノデ
アリマセウカ、第一ニソレヲ伺ヒタイ
ノデアリマス、其上ニ又申上ゲタイト
思ヒマス

○鈴木政府委員 只今藤田サンカラノ
御尋ニナリマシタ富士川ノコトデアリ
マスガ、御示シノ通り富士川ハ最モ重
要ナル河川ノ一デアリマシテ、第一期
河川中ノ最モ重要ナル部分ニ屬シテ居
ル、一度洪水ガアリマスト云フト、山梨
縣モ非常ナ損害デアリマスガ、實ハ靜
岡縣モ甚カラヌ迷惑ヲ被ムルヤウナ次
第デ、一日モ早く竣工セシメタイト云
フ考ハ持ッテ居リマスケレドモ、何分ニ
モ財政其他ノ都合デ、段々繰延ニナッ
次第デアリマスガ、若シ財政ニ許ス時
期ガ來マシタナラバ、成ベク早く竣工
セシメルト云フコトニ努力シタイト思
テ居リマス、而シテ其間竣工ニ至ル迄
ノ間ニ於キマシテ、若シ更ニ洪水ノ如
キモノガアリマシテ、損害ガ大ニナレ

バ、是ハ又自ラ矢張災害復舊ト云フヤ
ウナ名目ノ下ニ、國トシテハ相當ノ施
設ヲ爲サナケレバナラヌモノデアラウ
ト信ジマス、之ニ付テ縣費ノ負擔モ同
ジク増加スルノデアルカト云フコトニ
付テハ、損害ノ程度ニモ依リマセウト
思ヒマス、其際ニ於テ自ラ話合ノ付ク
コトデ、今日斯ウ云フ原則ノモノデア
ルト云フ御答ハチヨット致シ兼ねルカ
ト思ヒマス

○藤田胸太郎君 私ノ縣デハ昨年相談
ヲ致シマシテ、甚ダ不安ニ堪ヘナイカ
ラ、是非トモ此際ハ縣デ急所ニ要スル
費用、即チ素人ガ見テモ、縣ノ技術者ガ
見テモ、此ノ儘置カレテ、若シ一朝大洪
水ニ遭ヒマシタナラバ、被害ノ甚大ナ
ルコトハ明カデアアル、此際ニ於テ其急
要ナ場所ニ要スル費用ハ、縣デ縣債ヲ起
シテ負擔ヲシテ一時立替ヘテ置イテ、而
シテ之ニ對シテ國庫カラ納付金ヲ取ラレ
ルトキニ差引イテ戴クコトガ一番縣民
トシテハ安全ノ策デハナイカト云フノデ、
相談ヲ致シマシテ昨年モ陳情ニ參リマ
シタ、鈴木サンニハ御目ニ懸ラナカッタ
ヤウニ思ヒマスガ、ソレマデ縣民ガ覺
悟スルモノニ付キマシテハ、私ハ此河
川法ノ今度改メラレル中ニモ斯ノ如キ
條項ヲ加ヘテ、地方ガソレマデ熱心デ
アリマシタラバ、私ハ斯ウ云フ方法モ
一項加ヘテ置イテ戴キタイ、サウシテ
縣ガ實際自ラ進ンデンソレマデシテモ御
願ヒシタイト云フモノヲ放ッテ置クト

云フコトハ甚ダ國トシテ可哀相ニ思フ、縣民ガソレダケ熱情ヲ翹ヘマシタラバ、私ハ縣債ヲ起サセテモ一時其急場ヲ——誰ガ見テモ此儘放ッテ置イテハイケヌト云フ所ハ、若シ國ニ經費ガ無カッタナラバ縣債ヲ起サセテモ——縣債ヲ御認可下サッテソレ施設スル方ガ地方トシテ洵ニ適當デアラウシ、ソレガ適切ナコトニ問題モ何モ無イト思ヒマスガ、ソレニ對シテサウ云フ場合ニハ内務省ニ於キマシテハ、サウ云フ縣債ヲ許可シナイノデアリマセウカ、許可スル方ガ調法デアアリマセヌカ、而シテ現在此案ニ新ニ二川ヲ加ヘル、又他ニ此改修費ノ追加ニ多大ノ——二千何百萬圓カラ用意シタヤウナコトガ豫算ニモ見エテ居リマスガ、斯ノ如キ狀態ノモノデアレバソレハ宜シウゴザイマストシテ、私ノ縣ノ如キソレマデニ熱心ニヤルモノヲ、唯放ッテ置イテ若シ是ガ災害ノアツタ場合ニハ政府當局ハ貴様等言ッタケレドモ、アレハ災害ダ非常ナ天災デヤナイカト云フヤウナコトデハ甚ダ遺憾ニ思ヒマスガ、ソレニ對シマシテ内務省デハサウ云フ場合ニハ特例ヲ設ケテ、私ハ縣債ナドヲ許可シテ下サッテ速成スル方ガ治水ニ最モ適切ナルコトデハナイカト思ッテ居リマスガ、ソレニ對シテ政府ノ所見ヲ承リタイト思ヒマス

○鈴木政府委員 起債ノコトデアリマスガ、御承知ノ通り國債地方債ヲ通ジ

マシテ濱口大藏大臣ノ時代ニ於キマシテハ、非常ニ此點ヲ緊縮致シマシテ、容易ニ許サナカッタノデアリマス、此方針ハ今日モ持續ハ致シテ居リマス、併ナガラ此方針ト雖モ緊急已ムベカラザルモノハ例外ニナッテ居ルノデアリマス、現ニ之ニ類シタ事デ起債ヲ許サレタ事モアルヤウニ記憶ヲ致シテ居リマス、其時ノ詮議デドウ云フコトニナルカ、今日言明スル譯ニハ參リマセヌケレドモ、今仰セノ通りノヤウナ事例デアレバ、縣債ヲ起スト云フコトハ別段之ヲ差止メナケレバナラヌト云フ事柄デハナイ、寧ロ是ハ許スベキ性質ノモノ、ヤウニ只今承ッタ所ダケデハサウ考ヘラレルノデアリマス、併シ事實ハ果シテドウ云フコトニナッテ居リマスカ、是ハ能ク其場合ニ應ジテ書類等ヲ見マセヌケレバ、ハッキリシタコトハ申上ゲラレマセヌ、而シテ國ノ經費ノ無イ時分ニ縣費デ以テ先ヅ支辨シテ貰ッテ、後デソレヲ差引クト云フヤウナ事柄ハ、是モ場合ニ依テハ——確然タル御答ハ申シ兼ネマスケレドモ、之ニ似寄ッタ例ハ港灣ニハアルノデス、例ヘバ長崎港ノ如キハ縣デアリマシタカ市デアリマシタカ、先ニ立替ヘテズン——ヤッテシマッテ後デ補助ヲ貰ッタト云フコトモヤッテ居リマス、御示シノヤウナコトハ絶對不可能デハナイコトハ、ソレ等ノ實例ガ示シテ居リマス、併シ此問題ノ箇所ガ之ニ當ルヤ否ヤト云フコトハ調ベテ

見ナイト分リマセヌケレドモ、サウ云フコトハ今日アリ得ルコトデアリマス

○藤田胸太郎君 私ガ今希望ヲ申上ゲタノハ、成ベク河川法ニサウ云フコトヲ入レテ置イテモ差支ナイト私ダケハ信ジテ居リマスカラ、ソレヲ申上ゲタ譯デアリマスガ、ソレハ入レル御意思ガナイトスレバナイデ宜シイ、最モ地方ニ對シテサウ云フコトハ都合ノ好イコトデアリマスシ、デアリマスカラ入ラレルモノデアリマシタナラバ、入レテ置イテ下サレバ、私ハ都合ノ好イヤウニ感ジマス、隨テ山梨縣ノ富士川ノ如キハ一朝大洪水ニ遭ヒマシタナラバ、先ヅ山梨縣下ノ九分ハ全滅スルノデアリマスカラ、縣ノ本年アタリノ經濟ヲ歸ッテ調ベテ見マセヌガ、サウ云フ希望デアリマシタナラバ、只今ノ御說ノヤウナコトデ、ドウゾ御斟酌下スツテ、成ベク縣債ヲ起シテマデモ工事ヲ急グト云フ府縣ニ對シマシテハ、私ハ緩和シテ戴イテ、當然縣債ヲ許可シテ下サルヤウニシタナラバ、各府縣デ急イデ居ル所ハ大變便利デナイカ、只今ノ如ク十八年ノモノガ二十五年ニ延ビマスト、私ノ縣ノ富士川ノ如キハ約倍ニ延ビタヤウナ感ガアリマシテ、其間ニ水害縣トシテハ甚ダ杞憂ニ堪ヘヌ次第デアリマス、大體政府委員ノ御考ヲ能ク了承致シマシタカラ是デ質問ヲ止メマス

○神谷委員長 寺田君、農林省カラ見

エテ居リマス

○寺田委員 農林省ノ政府委員ガ御見エニナリマシタカラ、一二點質問ヲシタイノデアリマス、詰リ河川法ノ委員會デアリマスケレドモ、此河川ニ對シマシテ、古來治水ハ即チ國ヲ治ムルノ本デ、最モ重大ナルモノト思ヒマスガ、此治水上ノ關係ハ獨リ内務省ノ方ノ關係ニ止ラズシテ、森林政策ニモ關係スルノデアリマス、其趣旨カラ致シマシテ、農林省ノ政府委員ニ質問ヲ致シテ見タイ、河川ノ氾濫等ノ事ニ付キマシテハ、雨量關係等モ無論アリマスケレドモ、上流若クハ沿岸ノ森林關係ガ非常ニ多イコト、思ッテ居リマス、日本ノ各河川ニ關シマシテ、農林省ハ河川ノ爲ニ必要ナル保存林トカ存置林トカ云フヤウナ設定ヲサレテ、サウシテ水源ノ涵養若クハ流水ノ平調ヲ保ツト云フヤウナ趣旨ノ上ニ何等カノ設定ヲサレテアルモノデアリマスカ、唯農林省トシテハ山ヲ見ルダケデ、山林關係ノ上カラ見テ此處ヲ存置林ニスルトカ、或ハ此處ハ輪伐林ニスルトカ云フコトニ御決メニナルモノデアアルカ、ソレ等ノ點ヲ一應御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

○小山政府委員 只今御說ノ如ク森林ハ治水國土保安何レモ國家經濟上ノ重要ナル施設デアリマス、灌漑トシテハ三百萬町歩ノ水田殊ニ近時年々逐ウテ其施行ヲ見テ參ッテ居リマス一千萬馬力ノ發電、ソレ等ノ關係カラ從來國有

力ノ發電、ソレ等ノ關係カラ從來國有

林ニ對シテハ施業案ヲ立テ、ソレハ施行シテ參テ來テ居リマスコトハ御承知ノ通りデアリマス、又公有林ニ付キマシテハ官行造林ノ計畫ヲ樹テ、其施行ヲ致シテ居リマスガ、此公有林野ノ官行造林ノコトハ、曩ニ行政整理等ノ爲ニ其施行年度ヲ變更シナケレバナラヌ餘儀ナイ狀態ニハナッテ居リマスガ、我國ノ森林政策カラ見マシテ、最モ注意シナケレバナラヌノハ、私有林及社寺有林ノ無立木地、或ハ散生地等ニハ適當ナル施設ヲ致シテ參リマセヌケレバ、將來右申シ上ゲマヌヤウナ水田ノ灌漑、或ハ發電ノ水源ト云フモノニ付テ憂フベキ事態ヲ醸スト考ヘマス、ソレニハ如何ニスレバ宜シイカト云フコトニ付テノ方策ヲ段々當局ニ於テモ研究致シテ參リマシタ、一面ニ於テ農村ノ振興、或ハ漁村ノ振興ト云フヤウナ聲ガ逐年高マッテ參リマシタガ、既ニ農村漁村ノ振興アレバ山村ノ振興ナケレバナラナイト云フ考ヲ以チマシテ、曩ニ其方策ヲ樹テ、五十一議會ニ山村振興ニ關スル豫算ヲ提出致シマシタ、幸ニ御協賛ヲ得テ十五年度ニ其趣旨ニ基イテ施行中デアリマスガ、更ニ進ンデ只今申上ゲマシタヤウニ、此私有林社寺有林ノ方面ノ、甚ダ手ノ拔ケテ居リ、又經濟上之ヲ助成シナケレバナラナイト認メマス方面ニ付キマシテ調査ノ結果、水源涵養ニ關シマス所ノ豫算ヲ昭和二年度ニ計上致シマシテ、目下御審

議ヲ煩ハシテ居ル次第デアリマスガ、本年度即チ昭和二年度ニ於キマシテハ、十七萬三千三百有餘圓デアリマスガ、是ハ今後二十一箇年ニ亙テ、只今申上ゲマシタ趣旨ノ遂行ニ努メル積リデアリマス、其金額ハ約六百萬圓デアリマス、是ハ只今寺田君ノ御間ノ如キ河川ノ改修ニ付キマシテ、内務省土木局ニ於テ久シキニ亙テ其計畫案ヲ樹テラレ、事業ヲ遂行シテ參リマシタ、私ノ記憶スル所ニ依リマスレバ、確カ全國六十五河川デアッタト思ヒマス、之ガ最初ノ計畫ハ殆ド二億萬圓近クノ計畫デアッタト思ヒマスガ、其後時勢ノ變遷ト物價ノ騰貴等ニ依リマシテ、其倍若クハ以上ノ經費ヲ要スルコトニ立變ヘラレテ居ルト考ヘマス、併ナガラ此事ハ内務省所管デアリマスカラ、内務省ノ方ノ政府委員カラ詳シク御説明スル機會モアラウト思ヒマスガ、私ノ只今記憶致シテ居ル所デハ左様ナ狀態デ、河川ノ方ニ於テハソレハ施行セラレテ居ルヤウデアリマスガ、茲ニ最モ注意ヲ要スベキ事ハ、内務省所管土木局ノ河川施設ニ付テ農林省所管ノ山林經營ト相俟テ其間ニ連絡統一シタル施設ヲ行ハナケレバナラナイト私ハ考ヘテ居リマス、一例ヲ申上ゲマスレバ、大正十二年九月一日ノ大震災ノ結果ト致シマシテ、其被害ノ森林ニ及ボシタ面積モ相當廣汎ノモノデアリマスガ、就中箱根ノ一地域ニ於テ、内務省農林省共同シ

テ復舊ニ努メナケレバナラヌ箇所ガ多クアリマス、茲ニ起ル問題ハ河床ノ改修ハ内務省デアアルガ河床ニ臨ム沿岸ノ森林ハ農林省所管デアアルト致シマシタトキニ、能ク此間ノ聯絡統一ヲ保ツテ其進行ヲ致シマセヌケレバ、唯徒ニ權限ノ爭デアルトカ云フヤウナコトガアッテハ急速ニ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイト思ヒマス、ソレヲノ點ハ事ニ臨ミマシテ不便不利ト感ゼラレマシタルトキニ於キマシテハ、相當ニ合議ヲシテ目下著々其事業ヲ進メテ居リマス、要スルニ農林省ノ所管デアリマス山林局ガ、唯山相ヲ整ヘル、而シテ斫伐事業ヲ行ヒ、官行造林ヲ行ツテ、天然更新若クハ人工植栽ト云フコトノミヲシテ居ルト云フ意味デハアリマセヌ、要ハ只今申上ゲマヌヤウナ考ノ上カラ、國土保安ノ上カラ特ニ國有林公有林ニ付テノ施設ヲ更ニ擴張致シマシテ、山村振興ニ關スル私有林社寺有林ノ施設ニ一段ノ力ヲ注ギタイ、斯ウ云フコトデ幸ニ當議會ニ於テ御協賛ヲ得マスレバ、只今申上ゲマシタ金額ニ依テソレハ助成シ、以テ山相ヲ整ヘルト云フコトニ致シ、一面ニ於テハ治水事業ノ全キヲ期スルト云フ方針デ進ンデ居ル譯デアリマス

○寺田委員 只今ノ御説明ニ依リマシテ御趣意ノ在ル所ハ了承致シマシタ、現在ニ於キマシテハ各地方ニ於ケル河川ノ荒レル、損害等ノ防止ト云ヒマスカ、サウ云フ意味ニ關シテ治水ト森林トノ聯絡統一ヲ圖ツテ著々御ヤリニナッテ居ル積リデアリマセウガ、何カサウ云フ方ノ權威者ガ集ツテ、共ニ協同研究調査サレルヤウナ機關等モ未ダ無イヤウナ風ニ承ツテ居リマスガ、近クサウ云フモノデモ設ケテ全國ノ荒レル箇所ニ關シテ相當ノ方法ヲ講ジ、將來サウ云フ損害防止ニ努力サレルト云フ御目論見ハナイデアリマセウカ、又サウ云フ方針ニ依テオヤリニナル譯デゴザイマセウカ、其點ヲ伺ヒマス

○小山政府委員 誠ニ御尤ナ御尋デアリマスガ、此事ニ付キマシテハ離ルベカラザル森林ト治水トノ關係、ノミナラズ更ニ進ミマシテハ河川ノ改修等ニ付キマシテ直接關係ノアル一例ヲ申上ゲマスレバ、年々御協賛ヲ得テ其施行ヲ漸次擴メテ參ッテ居リマス、用排水幹線等ニ付キマシテモ、一面ニ於テハ河川ニ關スルモノデアアルカラ、内務省所管ニ屬スベキヤウニモ見ラレマスシ、又一面ニ於テハ不良灌漑、旱害、是等ノ關係デ其不足スル所ニ用水ヲ送り、若ハ溜ッテ居ル所ヲ排水スルト云フヤウナ、アノ用排水幹線ガ丁度今御尋ノ點ノ一部トシテ、内務省ト農林省ト、其所管ノ上ニ協議ヲ要スベキ點ガ所々ニアリマス、是ハ一例ニ過ギマセヌガ、是等ノ關係カラ見マシテ、目下行政調査會ノ方デ各省所管ニ關スル事務ニ付テ聯絡統一アルコトニ付テノ研究中デ、農

林當局ト致シマシテハ、御尋ノ點ハ至極御同感デアリマシテ、年來其考ヲ以テ合議シテ、其全キヲ期シタイ、斯ウ云フコトデ考ヘテ居ルノデアリマス、繰返シテ申上ゲマスガ、只今ソレハ行政調査會等ニモ懸カリ、尙ホ兩省ノ間ニ目下研究中デアリマス

○寺田委員 大體諒承シマシタガ、尙ホ一點御伺ヒシテ置キタイノハ、大概何處ノ河川デモ河口ニハ港灣ガアリマスノデ、港灣トナレバ内務省ノ所管トカ云フヤウニ伺ッテ居リマスガ、貧弱ナル漁港ニナリマス、農林省ノ方デ管轄シテ居ラレルヤウニ承知シテ居リマス、サウ云フ場合ニハ矢張河川ノ流水トカ、流域トカ、或ハ上流ニ於ケル種々ノ關係等モ能ク御調査ニナッテ、諸般ノ設備ヲシテ居ラレルコト思ヒマスガ、此又上流ノ河川ノ如何ニ依テハ、折角設ケラレタ漁港等モ殆ド用ヲ爲サヌヤウニナラヌトモ限ラヌト思ヒマス、ソレ等ニ付テモ矢張全部統轄シタ統一シタ何等カ方法ヲ變ヘテ、サウシテ各其目的ヲ達スルヤウニ十分ノ注意ヲシテ戴キタイト思ッテ居リマス、又無論サウナスッテ居ラシヤルコト、思ッテ居リマスガ、唯上流ハ殆ド此河川法ニ副ハナイ位ノ小サイ溝川デアリマシテ、サウシテ多ク海岸等ニ漁港ヲ成シテ居リマスガ、サウ云フ漁港ニ付テハ、別段河川法ノ關係モゴザイマスマイガ、専ラ農林省ノ關係デ種々ノ施設ヲシテ居ラ

レルコトト思ッテ居リマス、サウ云フ方面ニ付テモ、矢張魚附森林ト云フヤウナ關係モアリマスシ、十分御注意ニナッテ居ルコト、思ヒマスガ、一應農林省ノ方ノ御方針ヲ御伺ヒシタイト思ヒマス

○小山政府委員 農林省ノ所管ノ水産ニ關係致シマスル方ノ漁港ハ、全國明治四十二年頃カラ調査シテ、百九十九ノ位置ヲ調査致シタモノガアリマス、是ハ御説ノ如クドレガ漁港デアリ、ドレガ内務省所管デアアルカト云フコトニ付テノ其區別ヲ致ス點デ能ク協議致サナケレバナラヌコトガアリマスガ、漁港ハ商港ト違ヒマシテ、専ラ其沿岸ノ漁業並其漁港ヲ利用スベキ沖合漁業若クハ遠洋漁業ト、漁船ノ出入及漁獲物ノ共同處理、運輸ノ關係等ヲ基礎トシテ其漁港ヲ選定致スノデアリマス、商港トハ全ク趣ヲ異ニ致シテ居リマス、殊ニ漁港ハ御承知ノ如ク國ガ助成致シテ居ルノデアリマスカラ、商港ノ港灣調査會ニ懸カリマスルモノトハ其趣ヲ異ニ致シテ居ルノデアリマス、而シテ只今御説ノ如ク魚附森林等ノ關係ハ、沿岸漁業並ニ漁港等ニ付キマシテハ、固ヨリ注意ヲ致サナケレバナラヌモノデアリマス、是等ハ相當法規ノ命ズル所ニ依テソレヲ保有シテ參ラナケレバナラヌ關係等モアリマス、其漁港ニ注グベキ、河川ト云フマデモナキ、小サナ川ノ如キモノ、改修施設等ハ、漁港ニ附隨シテ當然起ルベキモノデアリマス

カラ、河床ノ附替等ノ事ハ漁港ノ方デ致スコトニナッテ居リマスノデ、此方ニ付テハ別ニ今日マデ何等支障ナク行ッテ居ル次第デアリマス、併ナガラ尙ホ河川ノ改修等ノ爲ニ、漁港ト云フ程度ニハ至リマセヌケレドモ、漁獲物ニ影響ガアルト云フヤウナ場合ノ起リマシタ時ニワッテハ、篤ト内務省ト協議致シマシテ、ソレト地方漁業組合若クハ漁民等ニ對シテ、長イ間ノ慣習若クハ漁獲物ニ對スル所ノ收穫ノ減收ト云フコトニ付テ篤ト研究シテ、其誤リナキヤウニ現在致シテ居リマス、是ダケ御答致シマス

○神谷委員長 他ニ農林省所管ニ御質問ハゴザイマセヌカ
〔別ニアリマセヌ〕ト呼フ者アリ
○加藤委員 第一ニ御伺ヒ申上ゲタイノハ、此度改正條項トシテ御示シナリマシタ所ニ依ルト、第六條中但ノ下ニ「主務大臣ガ自ラ河川ニ關スル工事ヲ施行シタルモノニ付必要ト認ムルトキ又ハ」ヲ加フトアリマス、此「必要ト認ムル」ト云フコトハドノ位ノ程度ノ場合ヲ仰シヤルノカ、ソレヲ先ヅ以テ御伺ヒ申上ゲタイ
○依政府委員 是ハ必要ト認ムルト云フ條件ト申シマセウカ、ト云ッテヤウナ事ヲ豫メ考慮シタノデアリマセヌ、併シ目下是ガ必要ヲ生ジタ爲ニ、今度改正ヲ加フルコトニナッタノデアリマス

ガ、其事ヲ申上ゲレバ其必要ト認ムルト云フモノ、一例トシテ御聽キガ願ハレルダラウト思ヒマス、此事柄ハ多分既ニ此委員會ニ於テ劈頭ニ政府委員ヨリ申上ゲタラウト思フノデス、實例ヲ以テ御示シスレバ例ノ新潟縣ノ大津分水工事デアリマス、是ハ御承知ノ通りニ餘程重大ナル仕事デアリマス、殆ド東洋ニ其例ヲ見ナイト云フ位ナ大工事デアアル、是ハ内務省直轄工事トシテ仕事ヲ致シ、最早完成シタコトハ御案内ノ通りデアリマスガ、斯ウ云フ大キナ仕事ヲ從來ノ河川法ノ規定ニ依テシマス、是ハ矢張一府縣知事、即チ新潟縣知事ガ將來ニ於テソレヲ維持管理シナケレバナラヌコトニ相成ル、併ナガラ斯ウ云フ風ナ重大ナル仕事、此仕事ガ他府縣ノ利害ヲ代表シ得ルト云フコトデナク、一府縣内ノ工事デアアルノデ、其仕事ノ將來ノ維持管理ヲ新潟縣知事ニ委任シテヤラシムルト云フコトハドウデアラウカ、斯ウ云フ大工事ニナルト、之ヲ維持管理スルニ付テモ十分ナル技術ヲ要スル、其技術ハ府縣ニ於テ之ヲ求ムルコトハ難イノデアッテ、主務大臣ニ於テ之ヲ十分ニ管理スル必要ガアルト云フコトノ爲ニ、此規定ノ改正ヲ要スル譯ニナッタノデアリマス、此事ハ前ニ申上ゲル通り、既ニ當委員會ニ於テ説明シタコトデアラウト思ヒマス、サウ云フ風ナ場合ガ此規定ニ當嵌ル、一府縣内ノモノト雖モ、主務大臣ニ於

テ必要ト認ムルナラバ、主務大臣ニ於テ之ヲ維持管理スル、斯ウ云フコトニシタ譯デアリマス、然ラバ其以外ニドウ云フ事ガアルカト云フト、ソレハ豫メ斯ウ斯ウ云フ場合、若クハ斯ウ云フ限度ノ場合ニ之ヲ必要ト認メルノダト言ッタ如キコトハ豫期シテナイ

○加藤委員 只今信濃川ノ大分津ヲ御引例ニナリマシタガ、現在ニ於キマシテ主務省ニ於テ是ト同様ニ御認メニナッテ居ル場所ガ他ニゴザイマセウカ、ソレヲ一ツ御伺ヒ申上ゲタイ

○俵政府委員 或ハ更ニ必要ガアルカモ知レマセヌガ、目下ノ所アリマセヌ

○加藤委員 其主務省ノ管理ニ爲サルノハ一時のデアリマセウカ、又ハ永久的デゴザイマセウカ

○俵政府委員 ソレハ目下ノ所ハ永久的ノ積リデアリマス

○加藤委員 御引例ニナリマシタ信濃川ノ大分津分水ハ仰セノ如ク頗ル重大ナ分水工事トシテ其名ヲ知ラレテ居ルコトデアリマスカラ、之ヲ一府縣ノ手ニ委スト云フコトハ中々容易ナコトデハナイ、寧ロ主務省ノ管理トスル方ガ宜イト云フ御見解ハ至極御尤ナヤウニ考ヘマスガ、併ナガラ現在ノ此條項デモ別ニ差支ガナイヤウニ思ハレマスガ、ソレハ如何ナモノデアリマセウカ、河川法ノ第八條ヲ見マスト「河川ニ關スル工事ニシテ利害ノ關係スル所一府縣ノ區域ニ止マラサルトキ又ハ其工事ノ至

難ナルトキ若ハ其ノ工費至大ナルトキ又ハ河川ノ全部若ハ一部ニ付キ大體ニ渉ル一定ノ計畫ニ基キテ施行スル改良工事ナルトキハ主務大臣ハ自ラ其ノ工事ヲ施行シ又ハ其ノ工事ニ因リ特ニ利益ヲ受クル公共團體ノ行政廳ニ命シテ之ヲ施行セシムルコトヲ得、前項ノ場合ニ於テハ主務大臣ハ此ノ法律ニ依リテ地方行政廳ノ有スル職權ヲ直接施行スルコトヲ得」斯ウアリマス、是カラ見マスト云フト、假令工事ガ完成致シマシテ、之ヲ地方行政廳ニ御移シニナリマシテモ、更ニ其管理上維持修繕ニ困難ヲ生ズルトカ、是非共是ハ國ガヤラナケレバナラヌ、地方ノ力デハヤリ得ヌ場合ニ於テハ、何時デモ主務大臣ハ直接ニ之ヲ施行スルコトガ出來ル、殊更ニ此箇條ヲ御加ヘ爲サル必要ハ無イヤウニ考ヘラレマスガ、政府ノ御所見ハ如何デアリマセウカ

○俵政府委員 今御引用ノ第八條ハ主務大臣ガ直接ニ其仕事ノ施行ガ出來ルト云フコトヲ規定シテアルコトハ御承知ノ通りデアリマス、第六條ノ方ハ此管理及維持修理、成程御説ノ通りニ若シモ修理ノ必要ガアツタ場合ニ於テハ第八條ノ規定デ以テ其仕事其物ヲ直接ニ施行ハ出來ルデセウケレドモ、管理ハ此八條デハ出來ナイ、ソレデ大分津ノ工事ハ前ニ申上ゲマシタ通りニ管理其モノヲ主務大臣ガヤル必要ガアル、斯ウ云フ爲ニ第六條ハ他ノ府縣ノ利益

ヲ保全スル爲ニ必要ト云フコトヲ極限シテアルカラ、矢張二府縣以上ニ跨ッテ利害ガアルモノデナケレバナラヌ、現行規定ノ此第六條デハイカヌ、ソレ故ニ是ハ一府縣ノ仕事ト雖モ矢張主務大臣ガ必要ト認メルナラバ管理ガ出來ル、斯ウ云フコトヲ爲ス必要ガアルノデアリマス、其爲ニ此第六條ノ改正ヲ必要トスルノデアリマス

○加藤委員 北信濃川ノ大分津ノ分水ハ言フ迄モナク是ハ二府縣ニ跨ッテ居ルモノト見テ宜シイト思フ、即チ信濃川ニ關スル所ノ附帶工事デアリマシテ、其信濃川ナルモノハ長野縣ト新潟縣トノ兩縣ニ跨ッテ居リマス、其兩縣ニ跨ッテ信濃川ニ對スル所ノ附帶工事トシテ行ハレタノガ大分津分水デアアル、シテ見ルト第六條ノ此規定ヲ實施スル上ニ於テ一向何等差支ハ認メヌト思フ、ソレカラ之ヲ管理スルコト云フコトハ成程第八條デアリマセヌ、併ナガラ例ヘバ其工事ガ完成シマシタ後ニ於テ、假ニ先年アリマシタヤウナ大分津ノ分水等ニ於テ非常ナル地ニリガアツタト云フヤウナ場合ニ於テハ、縣トシテハ是ハ出來ナイ、ドウシテモ是ハ國ノ力ニ依テヤラナケレバナラヌ、詰リ地方行政廳デ斯ル場合ニ臨ンダ際ニハ、直ニ之ヲ主務大臣ニ申請シテ、サウシテ其工事ヲヤルト云フコトニナリマスレバ一向差支ナイト思フガ、此管理ト云フコトハドウ云フ意味デアアルカ、吾々共ノ考ヘル

所カラ申シマス、折角分水工事ヲヤッタモノガ、處々ニ破損ヲ生ズル其破損モ小サナ破損ナラバ地方行政廳ノ手デ容易ニ爲シ得ル、ケレドモ只今申シマシタヤウナ地ニリ等ノ大難工事ニ對シテハ、是ハ出來ナイ、斯ウ云フトキニハ是ハ縣ガ申請スレバ國ガ無論ソレニ對シテ相當ノ補助ヲ與ヘテ、サウシテ之ヲヤルト云フコトニナリマスレバ、一向此管理ヲ行政廳ノ手ニ移シテ見タ所ガ何等ノ差支ハナイデハナイカ、斯ウ云フヤウナ修繕工事等ノ以外ノ管理ノ意味ガアリマスレバ別問題デアリマスケレドモ、修繕工事其モノガ即チ管理ノ大ナル目的デアアル、斯ウ云フコトデアリマスレバ、敢テ之ヲ主務大臣ノ手ニ置カズニ地方行政官ノ管理ニ委シテ置イテモ何等ノ差支ハナイヤウニ思ハレマス、此點ニ付テハ如何デアリマセウカ

○俵政府委員 一ツ御答ラスルニ付テ丁度御話ノ點ヲ分類シテ御答ラシタイト思ヒマス、御意見ハ第八條ト第六條ト岐レマスガ、先程申上ゲタ通りニ仕事ヲスル方ハ第八條デ行ケル、併シ管理ノ方ハ第八條デハ行ケナイデスカラソコハ一ツ區別シテ御聽取リヲ願ヒタイ、然ラバ第六條デ管理ガ出來ルデハナイカト云フ御説デアリマスガ、是ハ出來マセヌ、若モ此六條ノ現行ノ但書ヲ之ヲ意味ヲ擴張シテ解釋シテ、信濃川其モノガ二府縣以上ニ跨ッテ居ル河川

デアルカラ、其河川ノドノ仕事デモ矢張苟モ信濃川ノ工事ト云ヘバ二府縣以上ニ跨ッテ仕事デアルト解釋出來ルデハナイカト云フ御説ノヤウニ思ハレルガ、サウデハアリマセヌ、工事其モノ、利害ガ一府縣以上即チ二府縣ニ跨ルモノデアアルカナイカト云フノデ、詰リ此六條ノ但書ニ含マレル川其モノ、流域ガ二府縣ニ跨ッテ居レバ、其川ノ工事ハ何處デモ二府縣以上ノ利害ヲ代表スルモノデアルトハ解釋シテ居ナイ、隨テ大河津ノ仕事ハ、川ノ流域ハ成程長野縣及新潟縣ニ關係シテ居テモ、其仕事其モノハ新潟縣ダケノ利害ニ關係シテ居ル、デスカラ此但書ニ依テハ管理ガ出來ヌ、斯ウ云フコトニ御承知ヲ願ヒタイ、然ラバ進ンデ管理セヌデ宜イデハナイカ、ソナモノハ縮マカシテ措ケ、斯ウ云フ御議論デスガ、ソレハ困ルノデス、何故困ルカト申シマスルト、其管理ト云フコトハ平素ノ手入レ、世話、修繕等トカ云フ問題ニナツテ來レバ、其結果ハ管理ノ結果ニ依テ初メテ其修理ガ生ジテ來ル、吾々斯ウ云フ仕事ニナルト云フト、是ハ餘程仕事ノ込入ッタ仕事デアリマスカラ、平素ノ管理其モノヲ府縣ノ手ニ委セルト云フコトナリマスト云フト、手落ガ起ッテ來ル、隨テドウモ修理工事が起ッテ來ル、何處マデモ是ハ内務省直接ニ管理シマシテ、平素ノ手入レ世話ヲシテ居ルカラ、管理權ヲ内務大臣ガ持ッテ居ル必要ガアルト、斯ウ云フコトニナツテ來マスカラ、ソレ故ニ今回ノ改正ヲスル必要ガアル、斯ウ云フ譯デアアルノデス、ダカラ管理權ヲ持ッテ居ラヌデモ宜イデハナイカト云フ御意見ナラバ是ハ無論第六條其規定ハ二府縣以上デアアルカ、二府縣ニ跨ラヌデモ管理權ハ新潟縣ニ委シテ置イテモ宜イデハナイカト云フ御説ニナリノデアリマスカ、ソレダト云フト此解釋ハ吾々ト一致シテ、唯ダ問題ハ管理權ヲ移ス必要ガアルカナイカト云フ問題ニナツテ來ルノデアリマスカ、ソレハ今申上ゲタ通りニ、政府ハ矢張立派ナ技術者ノ居ル内務省ガ平素ノ管理ヲスル必要ガアルト斯ウ考ヘマス

○加藤委員 此他府縣ニ利害關係ノ及ブト云フコトハ、私共ノ解釋スル所ニ依リマスト其工事ヲ致シマシタ結果ガ、ソレガ新潟縣ナラ新潟縣デ行ヒマシタル工事ノ爲ニ、長野縣ガ非常ナ利益ヲ得ル、斯ウ云フ風ニ解釋ヲ致シテ居ルノデアリマス、サウシマスト云フト、今大河津分水ヲヤリマシタ其工事が非常ナ良イ結果ヲ齎シテ、爲ニ水害ガ無クナツタトシマスレバ、其地方ニ水害等ノ無イ結果ガ、自然上流ニモ及ボシテ上流ノ者モ非常ナ利益ヲ得ルト云フヤウナコトニナルモノトシマスレバ、今大河津ノ分水工事ト云フモノハ決シテ長野縣ニ關係ガ無イモノデハナイ、此分水工事ヲヤッタ利害關係ハ、上流ノ

長野縣ニモ非常ナ關係ノアルモノト見テ宜シイト斯ウ思フノデアリマスルカラシテ、今ノ此第六條、之ヲ詰リ二府縣ニ跨ッテ居ル所ノモノト見テ、サウシテ從來ノ儘ニシテ置イテモ一向差支ノナイヤウニ思ハレル、ソレカラ若シソレガ費用ノ一點デアッテ、詰リ其工事ヲ施シテモ、新潟縣ダケノ費用ニ止ッテ、是ガ隣縣ニハ及バヌト、サウ云フ時ニハ詰リ他府縣ニ利害關係ノアルモノト見ルコトガ出來ナイカラ、斯ウ云フヤウナ條項ヲ設ケナケレバナラヌト云フモノデアリマスレバ、是ハ最モ意味ノアルモノト思ハレマスガ、此點ハドチラデアアルノデスカ、兩方含ンデ居ルノデアルカ若クハ後ニ申上ゲタ費用ノ關係ガ二府縣以上ニ跨ッテ居ラヌト云フヤウナ場合ニ、此條項ノ必要ガアルト、斯ウ仰シヤルノデスカ、其點ヲ承リタイト思ヒマス

○俵政府委員 費用ノ負擔ト云フ文字ハ、利害ノ負擔ノ結果デ、利害ガナケレバ費用ノ負擔モナイ、政府ハ内務省ガアナタノ仰シヤル大河津分水ガ長野縣ニ利害ガ及ブトハ思ハヌ、若シ利害ガ及ブナラバ費用モ負擔シナケレバナラヌ、費用ノ負擔ハ利害ノ關係ノ結果デアリマス、デスカラ大河津ノ分水ガ、是ガ新潟縣ノ水害ガ大河津ノ分水ニ依テ改善セラレタカラ、長野縣ガ仕合セトハ政府ハ見テ居ラヌ、長野縣ノ信濃川ニ對スル治水ハ信濃川ノ治水デ、長野縣流域ノ方ニ於テ適當ナ治水工事がアルデセウ、兎モ角モ大河津ノ工事ハ其利益ガ長野縣ニ及ブトハ見テ居ラヌ、隨テ費用モ長野縣ハ負擔シテ居ラヌ、即チ此大河津ノ問題ハ此條文ニハ適應シナイカラ、斯ウ云フ風ニ改正スル必要ガアル斯ウ考テ居リマス

○加藤委員 更ニ御伺ヒ申上ゲタイノハ、此工事が完成シテ之ヲ地方行政廳ニ一任スルト云フコトハ當然ノ事デアッテ、ソレヲ今度内務省ノ所管ニシテシマフト云フコトニナルト、地方權ノ侵害トナリ、或ハ地方行政廳ノ有スル職權ヲ剝奪スルヤウナ嫌ガアルヤウニ思ハレマスガ、此點ニ於キマシテ御所見ハ如何デアリマセウ

○俵政府委員 剝奪ト云フ言葉ハ當ルカ當ラヌカ知リマセヌガ、默ッテ放ッテ置ケバ大河津ノ分水工事ノ管理ハ地方長官ニナツテシマフカラ、ソレガ國ノ利益保護ノ爲ニ不適當ダカラト云フノデ改正スルノデス、其結果規定ニ依テ内務省ガ之ヲ管理スルコトニナルノデ、地方權ノ侵害トカ知事ノ權限ノ侵害トカ、ソナナ事ハ起ルマイト思ヒマス

○加藤委員 當然地方行政官ガ之ヲ管理スベキ職權ヲ有シテ居ルモノヲ、内務省ガ之ヲ取上ゲテシマヘバ矢張地方官ノ持ッテ居ルモノヲ奪ヒ取ルコトニナリハシマセヌカ

○俵政府委員 私ハ言葉ハ爭ヒマセヌケレドモ、知事ニ委セル事が工事ノ爲

ニ良クナイ、斯ウ内務大臣ハ見ルカラ
此改正ヲ要求致シタノデアリマス

○加藤委員 之ヲ内務省ノ所管ニ移シ
テシマヒマスレバ、其費用ハ全部内務
省デ支辨セラレルノデアリマス、或
ハ其一部ヲ地方ニ負ハシムルノデアリ
マス、其點ヲ御伺ヒ申上ゲタイ

○依政府委員 ソレハ從來其河川ノ費
用ヲ負擔シテ居ル其限度ニ於テ負擔ス
ルノデス、工事費其モノモ矢張地方ガ

負擔シテ居リマスカラ——イヤ是ハ管
理費ハ國ガ全部負擔スルコトニナリマス

○鈴木政府委員 加藤サンノ御説デス
ガ、是ハ地元ノ人々ガ皆希望ガ多イヤ
ウニ聞イテ居ルノデ、今アナタノ御質
問ヲ聽イテ實ハ意外ニ思フタノデスガ

……
○加藤委員 私ハ此事ニ付テハ此間申
シマシヤウニ、至極結構ト思ヒマス
ガ、併シ疑義ノアル所ダケハ御尋シナ
ケレバナラス、御尋申シタカラ反對ト
云フ譯デハナイ、ドウカソコハ御安心

ノ上ニ、能ク吾々ニ納得ノ出來ルヤウ
ニ御説明ヲ願ヒタイ——ソコデ只今御
伺ヒ申上ゲタ點ハ、全部國ガ費用ヲ支
辨セラレルト云フコトデアリマスガ……

○依政府委員 一寸——先刻管理費ハ
全部國ガ持つト申上ゲマシタガ、是ハ矢
張地方ガ分擔スルノデス

○加藤委員 之ヲ國ノ管理ニ移シテ全
部費用ヲ負擔シテ貰ヘレバ洵ニ結構ト
云フ意味デ此間申上ゲマシタガ、地方

ガ矢張幾分負擔シナケレバナラスト致
シマス、只今申シタヤウニ地方長官
ガ之ヲ管理シテ其必要ヲ認メタ場合ニ
之ヲ申請シテヤッテ貰ヘバ何等差支ハ
ナイ、然ルニ國ガ管理シナケレバ差支
ガアル、地方官ガ管理シテ居レバ差支
ガアルト云フノハドウ云フ事デアリマ
スカ、一ツ實例ヲ舉ゲテ了解ノ出來ル
ヤウニ御説明ヲ戴キタイ

○依政府委員 先刻申上ゲタノデ御分
リ下スツタデハナイカト思フテ居ルノデ
アリマスガ、此仕事ハ先ヅ東洋ニナイ位
ナ非常ナ大工事デアアル、仕事其物ガ、首
尾好ク完成シタコトハ洵ニ國家ノ爲ニ
幸デアリマスガ、斯ウ云フ立派ナ仕事

ヲ——失禮デスガ地方廳ニハ先ヅ内務
省ヨリ技術ノ劣タ人ガ居ルモノト見
ナケレバナラス、サウ云フ不慣ナ人ガ
將來ノ維持ノ世話ヲスルコトニナルト、
之ガ爲ニ或ハ斯ウ云フ立派ナ工事ガ更
ニ大破壊ヲスルガ如キ事ガ無イトモ限
ラス、ソレ故ニ斯ウ云フ風ナ大工事ノ

仕事ニ當ツタ技術者ガ、平素ヨリ十分ニ
注意シテ管理スル事ガ必要デアアル、サ
ウシナイト云フト國庫モ地方モ非常ニ
迷惑スルヤウナ事ガ出來ヌトモ限ラナ
イ、斯ウ云フ虞レカラ、寧ロ斯ウ云フモ

ノハ矢張内務省ニ於テ管理シタ方ガ宜
シイ、之ガ地方ノ爲ニモ國家ノ爲ニモ
宜シイ、斯ウ云フ點カラ此改正案ヲ提
案シタ所以デアリマス、地方ガ蓋シ喜
ブ點ハ其點デアリマセウ

○加藤委員 尙ホ一ツ御伺ヒ申上ゲテ
置キタイノハ、能ク規定ヲ拜見スレバ
分ル事ト思ヒマスガ、序デデアリマス
カラ御伺ヒ申上ゲタイガ、之ヲ國ガ管
理致シマシタ場合ニ於テ、地方ニモ其
管理費ノ一部ヲ負擔サセルト云フコト
デアリマスガ、其割合ハドウ云フ風ニ
ナツテ居リマスガ

○依政府委員 チョット率ハドウナツテ
居ルカ分リマセヌガ、金高ガ分ツテ居リ
マスカラ其高ヲチヨット申上ゲマセウ、
明年度ヨリ五箇年間ノ豫算ノ總高ガ出
テ居リマスガ、五箇年ノ總計ガ九十三
萬圓、其分擔ハ國ガ三十五萬圓、地方ガ
五十八萬圓斯ウ云フコトニナツテ居リ
マス

○加藤委員 尙ホ序デニ御伺ヒテ置キ
タイノハ、一般ノ河身改修ニ關スル所
ノ主務省ノ補助ノ割合ヲ伺ヒタイ、詰
リ國ガ支出スル所ノ費用ト地方ガ負擔
スル所ノ費用ノ分擔ノ割合ヲ一ツ伺ヒ
タイ

○鈴木政府委員 只今加藤サンノ御質
問デアリマスガ、河川ノ改良工事ニ關
スル費用ノコトハ、河川法第二十六條
ニ規定ガアリマス、是ハ二十六條ノ所
ヲ御覽下サレバ分リマスガ、其府縣内
ノ地價總額千分ノ二箇半ヲ改良工事ノ

豫算費用ガ超過シタ時分ニハ、其超過
額ノ三分ノ二以内ヲ國庫ガ補助スルコ
トガ出來ル、併ナガラ地價總額百分ノ
二箇半ヲ超過スル部分ニ付テハ、其超

過額ノ四分ノ三以内ヲ補助スルコトガ
出來ル、大體斯ウ云フ規定ニナツテ居リ
マス、而シテ管理維持修繕ノ件ニ關シ
マシテハ、二十四條ノ第二項ニ規定ガ
アリマシテ、主務大臣ニ於テ第六條ノ
但書ノ河川ノ管理若クハ其維持修繕ヲ
爲ス場合ニ於テハ、國庫ニ於テ其費用
ノ全部若クハ一部ヲ補助スルコトヲ得
ト斯ウ云フコトニナツテ居リマシテ、此
處ニ率ハ出テ居リマセヌ、左様御承知
ヲ願ヒマス

○加藤委員 先刻依政務次官ノ御答辯
ヲ伺ヒマス、大河津ノ分水ハ東洋ニ
モ殆ド見ルコトガ出來ナイ大工事デア
ルカラ、之ヲ地方行政廳ニ委シテ置ク
コトハ出來ナイ、國ガ管理ヲシナケレ
バナラスト云フコトデアリマシタガ、

斯ウ云フヤウナ大工事デアリマス以上
ハ、普通一般ノ河川ト同様ニ御取扱ニ
ナラズニ、詰リ全部ヲ國ガ御支辨下サ
ルヤウナコトニ爲サル譯ニ參ラヌデア
リマセウカ、只今伺ヒマス、九十何萬

圓ト云フ莫大ナ費用ヲ要スル、此中地
方ノ負擔ガ五十何萬圓——此大ナル費
用ヲ地方ニ負擔セシムルヨリハ、寧ロ

管理權ヲ内務省ガ收メナサル以上ハ、
全部ヲ御支辨シテ戴キタイ、然ラザレ
バアベコベニ切メテハ三分ノ二ヲ國ガ
負擔シテ、其一部ヲ地方ニ負擔サスト
云フコトニサレテモ私ハ當然デナイカ
ト思フ、管理權ヲ主務省ニ收メラレル
以上ニ於キマシテハ、全部ヲ御支辨ナ

サルノガ是ハ相當ノ御取扱デハナカラ
ウカスウ思フノデアリマスガ、政府ハ
此點ニ付テドウ云フ御考ヲ御持チニナ
テゴザルカ、一ツ御伺ヒ申上ゲタイノ
デアリマス

○依政府委員 鈴木參與官カラモサッ
キ加藤君ニ話サレタコトハ、根本ニ於
テ賛成デアルト仰シヤッタカラ、是レ以
上申シマセヌガ、頻ニ地方廳ノ權限ヲ
奪フトカ剝奪スルトカ云フ風ナコトヲ
申サレマスガ、私ハ是ハ却テ事實ハ反
對ダト思フテ居リマス、若シ之ヲ地方廳
ノ規定ニ依テ地方自治ノ維持管理ニ委
シテ置イタ結果、若シ破壊シタトカ所
謂管理ノ仕方ガ惡カッタトカ云フコト
ニナレバ、地方ノ工事費ヲ失フトカ云
フダケデナク大損害ヲ更ニ負ハナケレ
バナラヌ、サウ云フムツカシイ仕事ナ
ラバ、地方ハソレハ内務省デ世話シテ
呉レ、バ大變結構デアルト云フコトガ、
サツキ加藤君ノ御話ノ真相デアルト思
フ、然ルニ加藤君ハ之ヲ内務省ガ取ル
ノハ怪シカラヌ、ドウモ地方ノ權限ヲ
剝奪スルノダト云フ稍反對ノヤウナ意
味ノ御言葉ヲ御發シニナッタガ、事實ハ
其反對ダト思フ、地方廳若クハ地方ガ
之ヲ維持シテ、將來大破モナク完全ニ
管理ガ出來ルナラバ、費用ヲ全部負擔
シタツテソレハ仕合セダト云フコトニ
ナツテ來ルノガ順序デアルヤウニ考ヘ
マス、併ナガラ國ガ全部ノ管理費ヲ持
テ呉レ、バ、尙ホ結構デセウ、是ハ今申

上ゲマシタ如ク、全部手間モ費シ費用
モ費シテ國ガ持ツト云フコトハ、ドウ
モ一寸困ル、ソレ故ニ出來ルダケ多ク
ノ費用ヲ國ガ持ツヤウニ、願ヘレバ全
部ノ費用ヲ國ガ持ツヤウニト云フ御希
望ノ點ハ、ソレハ地方トシテ御尤デア
リマスカラ、考慮モ致シマセウガ、併シ
餘程ムツカシカラウト思フ、手間モ國
ガスル、費用モ國ガ持ツ、其管理ヲ國ガ
スレバ當然費用モ國ガ持タナケレバナ
ラヌト云フ理窟ハアリマセヌ、サウ云
フ例ハ他ニ幾ラモアリマス、管理ノ問
題ト費用分擔ノ問題トハ是ハ別ノ問題
トシテ御考ヲ願ヒタイ

○加藤委員 先ヅソコニ至リマスル
ト、各見方デアリマシテ、政府ガサウ云フ
風ニ御考ニナツテ居リマス以上ハ、已
ムヲ得ヌコトデアリマスケレドモ、併
シ東洋第一ノモノデアルカラ、之ヲ政府
ガ管理シタ方ガ宜イ、地方ニ委シテ置
イテハ中々不安ニ堪ヘナイト云フ程ノ
御親切ガアリマス以上ハ、其費用ヲ
國ガ全部御支辨ニナリマシテモ相當デ
ナイカ、唯之ニ對シテ政府ガドウ云フ
風ニ御考ニナツテゴザルカト云フコトヲ
參考ノ爲ニ御伺ヒシタ次第デアリマス
ガ、更ニ御伺ヲ致シタイノハ、是ハ別ノ
問題デアリマスガ、此大河津ノ分水工
事ヲシテ貫ヒマシタ結果ガ、昨年ノ大
水害等ニ於テモ、非常ニ平場地方ノ水
害ヲ輕減スルコトガ出來マシテ、一般
縣民ハ之ヲ喜ンデ居ル次第デアリマス、

併シ未ダアレダケデハ十分ト云フ譯ニ
ハ參ラヌ、ソレデ尙ホ縣民ノ希望ト致
シマシテハ、アノ新潟市ノ上方ニ當リ
マス所ノ關屋ノ分水工事ヲシテ貫ヒタ
イ、是ハ一面ハ此水害ノ關係モアリマ
スガ、又一面ニ於キマシテハ新潟港ニ
モ關係ノアルコトハ能ク依政務次官ハ
御存ジト考ヘテ居リマス、現在ノ狀態
デハ、昨年ノヤウナ大水害ニ遭ヒマス
ルト、逆流ノ爲ニアノ信濃川ノ沿岸地
方ニ於テハ長イ間田畑ガ浸水致シマシ
テ、ソレガ爲ニ收穫皆無ニ屬シタ地方
ガ少クナイ、要スルニ是ハアノ新潟附
近ニ於ケル所ノ水排ケノ十分デナイト
云フ結果ガ此ニ至ッタコトハ明カデア
ル、イマ一ツニハ、此新潟港ガ折角アノ
通りニ出來上リマシテモ、尙ホ年々流
レ込ム所ノ砂ガ中々大變ナ量デアツテ、
ソレガ爲ニ段々港ガ淺クナツテ來ルト
云フヤウナ次第デアリマスルノデ、詰
リ此築港ノ終局ノ目的ヲ達スルコトモ、
又水害ヲ絶無ニスルト云フコトモ、一
ニ此關屋ノ分水工事ヲスルトセヌトニ
依テ岐ル、次第デアルカラ縣民ハ此
點ニ向ツテ非常ニ熱望ヲ致シテ居ルコ
トデアリマスガ、此點ニ付キマシテ主
務省ノ御考ハドウ云フ風ニ御持チデゴ
ザイマセウカ、此機會ニ於キマシテ此
點ヲ御伺ヒ申上ゲタイ

○依政府委員 關屋ノ分水工事ノコト
ニ付テノ只今ノ御尋ハ御尤モ千萬デゴ
ザイマス、私モ昨年新潟縣ニ參リ市ニ
參リマシテ、新潟縣及市ノ工事ニ對シ
マスル熱心ナル希望ヲ御聽キマシタ、
又實地ヲ視察モシマシタ、是ハ加藤君
モ能ク御承知ノ通り、大河津ヨリ上流
ノ水害ハ大河津ノ分水ニ依テ全ク緩
和シ、下流モ亦餘程緩和シマスガ、何分
ニモ下流ニ尙ホ信濃川ニ流入スル河水
ガ甚ダ少カラヌノデアリマシテ、大河
津分水ヲ以テ全部ノ信濃川ノ水害ヲ除
却スル譯ニ行カヌコトハ是ハ無論デア
リマス、隨テ何等カ其處ニ尙ホ十分ナ
ル工事ヲ致シマセヌケレバ、下流ノ水
害ヲ除却シ能ハザルノミナラズ、只今
御話ノ如ク新潟港ノ水深ヲ維持シ、新
潟港ヲ完全ナラシムル譯ニ行カヌト云
フ、其御質問ノ御趣意ハ御尤モ千萬ニ
考ヘマス、唯之ニ付テハマダ大河津分
水下流ノ河身ノ整理ガマダ出來テ居
マセヌノデ、河身ノ整理ヲスルト云フ
コトハ同時ニ河水ノ流域ヲ一定セシム
ル爲ニ必要デアル、斯ウ云フ風ナコト
モアリマスルシ、又且ツ一方ニ於テハ
果シテ關屋ノ分水ヲスレバ、地方ノ希
望スルガ如ク完全ニ水害ヲ除却シ、新
潟港ノ水深ヲ十分ニ維持スルコトガ出
來ルカト云フコトニ付キマシテモ、尙
ホ十分ナル研究調査スベキ問題ガマダ
アリマスノデ、ソレ故ニ此工事ニ付キ
マシテハ研究シタ上ニ於テ計畫スル
必要ガアルト云フコトヲ以テ、目下其
意味ヲ以テ十分ニ調査研究中デアリマ
ス、調査後ニ於テ此事ハ十分ニ考慮致

シタイト思ッテ居リマス

○加藤委員 一日モ速ニ縣民ノ目的ヲ達スルヤウニ御考慮アラシコトヲ切ニ希望致シテ置キマス、更ニ御伺ヒ申上ゲタイノハ、阿賀野川ノ改修工事ノコトニ付テバアリマスガ、加藤内閣成立以來整理緊縮ト云フヤウナコトカラ、總テノ河川ガ其工事ヲ繰延又ハ中止ト云フヤウナ状態ニナツテ居リマスルコトハ、今改メテ申上ゲルマデモナイコトデアリマス、是ガ爲ニ此阿賀野川ノ河身改修工事ノ如キモ、殆ド工事ハ中止ハシテハ居リマセヌケレドモ、中止モ同様ナ風ナ洶ニ緩慢ナル工事ノ遺方デアリマシテ、ソレガ爲ニ其河身改修ヲヤツテ居リマスル地方ノ部落民ノ迷惑ト云フモノハ中々容易ナラヌ迷惑デアル、ソレデアリマスルカラ一日モ早ク其工事ノ完成ヲ希望致シテ居リマス、尙ホ阿賀野川ノ沿岸ニ川東、巢本ト云フ村落ガアリマスガ、其方面ニ於ケル河身改修ガ出來ナイ爲ニ、其地方ニ於テハ今ニモ破堤センカト云フヤウナ風ニ始終不安ノ念ニ襲ハレテ居ル、幸ニ昨年ハ此阿賀野川ノ方ニ於キマシテハ大シタ増水モナカッタカラシテ、阿賀野川方面ニ於ケル心配ハゴザイマセヌデシタケレドモ、併ナガラ一朝阿賀野川ノ水源地方ニ於ケル所ノ雨量ガ非常ニ増加シマシタナラバ、容易ナラヌ所ノ慘害ヲ呈シタコト、思フノデアリマス、斯様ナ所ガアリマスルカト思ヘバ、又

小阿賀野川ノ開門工事ノ如キ、マダ完成ニナツテ居リマセヌ爲ニ、昨年ハ小阿賀野川ノ一部ガ破堤致シマシテ、爲ニ浸水ノ被害ヲ蒙ッタト云フヤウナコトニナツテ居リマス、デアリマスルカラシテ整理緊縮ノ結果其工事ヲ繰延ベラルルト云フコトハ已ムヲ得マセヌコトデアルケレドモ、併ナガラ同じ工事デモ只今申シマシタ其川東、巢本ノ方面ノ如ク今ニモ非常ナ増水ガアレバ危険ヲ感ズルト云フヤウナ地方ノ工事ハ、之ヲ前ニ致シテ、サウシテ其地方民ノ不安ヲ除イテヤル、又此阿賀野川ト小阿賀野川ノ間ニ在ル所ノ開門工事ノ如キ一日モ早ク其工事ヲ完成シテヤリマスレバ、昨年ノヤウナ被害モナクナツテシマフト云フヤウナ風ニ思ハレマス、是ハ詰リ内務省ノ御手加減デドウニモ出來ルヤウニ思ハレル、整理緊縮ヲ致シマシタカラ、必シモ其工事ガ遅ラサナケレバナラヌト云フノデモナカラウカラ、餘リ急ヲ要サヌヤウナ所ハ後廻シニシテ只今申シマシタヤウナ工事ヲ急ギマス地方ノモノヲ前ニスルヤウニ、其地方ノ係官ニ御命ジ下サイマシタナラバ、如何バカリカ地方民ガ喜ブコト、考ヘルノデアリマスガ、此點ニ付テハ如何ナモノデアリマセウカ、一應此場合ニ御伺ヲ申上ゲテ置キタイ

○儀政府委員 御尤モナ事デアリマス、元來治水事業費ハ繰延ヲシタト云フモノ、今丁度御話ノ如ク其仕事ノ完成ヲ非常ナル利害ヲ持ッテ居ル沿線並ニ地方民ハ期待シテ居ル所ノ工事デアリマスカラ、繰延ト云フコト其モノモ餘程政府ハ考慮シテ居ルノデアリマス、況ヤ又仕事ノ緩急ヲ圖ツテサウ云フ最モ利害ノ厚イ仕事ノ方ヲ前ニスルト云フコトニ付テハ、十分ニ注意スベキ筈デアリマスシ、無論注意シテ居ルダラウト思ヒマス、尙ホ今ノ御話ノドウ云フ理由デト云フコトニ付テハ能ク私ハ御説明ハ出來マセヌガ、御話ノ御趣意ハ十分ニ注意致シマシテ、サウ云フコトニ致スコトニ致シマス

○加藤委員 私ノ質問ハ一先ヅ打切りト致シテ置キマス

○神谷委員長 竹原君

○竹原委員 餘程質問ガ長クナリマシタガ、一寸序ニ御伺ヒ致シマス、凡ソ工事ナルモノハ著手以來竣工マデ成タケ期間ノ短イト云フコトガ經濟上ナリ工事ノ上ニ於テ利益デアアル、若シ長ケレバ種々ノ故障モ中途ニ於テ起ルト云フコトモアル、併ナガラ河川改修ノ如キ大事業ニ至リマシテハ、其費用其能率等ニ於テ自ラ年月ヲ要スルコトハ是ハ已ムヲ得ヌコトハ申ス迄モナイノデアリマスガ、自分ノ方ノ大體素人ノ考ト致シマシテハ、成タケ著手致シマシタル所ノ工事其モノニ付キ速ニ完成ヲ圖ルト云フコトガ利益デアアルマイカ、現ニ只今ノ所デ第二期改修河川ニ屬スルモノ、中ニ於テモ、數十川工事中ノモノ

ガアルノデ、一口ニ言ヘバ多クノ未成川ヲ店頭ニ列ネテアルト云フ形ニナツテ居リマス、然ルニ十六年度以降ニ於キマシテ、更ニ二千幾百萬圓ト云フコトノ新タニ工費ヲ要スル所ノ事業ガ起ルノデアリマス、最モ其中ニハ維持費等モアリマスルノデ、悉クソレガ河川ノ改修ノ新規要求費トハ申シマセヌデスガ、之ヲ寧ロ未成川ノ工事竣工ノ中途ノモノガ多イ今日デアリマスカラ、之ヲ早く完成セシメルト云フコトハ、經濟ニ於テ更ニ新規ノ事業ヲ起スヨリ宜イト考ヘルノデアリマス、併ナガラ實際能率上ノ關係ハドウ云フコトニナルカ、是ハ素人ニ推シ量ラレマセヌガ、寧ロ新タニ工事ヲ起スヨリ、今工事中ノ事業ヲシテ完成セシムルト云フコトガ、即チ此治水上ナリ河川改修ノ上ニ於テ必要ガアルノデハアルマイカ、然ルニ拘ラズ工事中ノモノハ工事中ノモノトシ、其竣成ヲ圖ラズシテ、新規ニ工事ヲ起スト云フコトハ、ドウ云フ御都合ヨリ來タルモノデアラウカ、成程各地ノ河川ノ改修ノ必要ヲ感ゼラレテ、其事業ノ起ルト云フコトハ洵ニ結構デハアリマスルガ、寧ロソレヨリカ著手シタル工事ヲ完成シテ、其實效ヲ擧ゲルノヲ急グト云フコトガ必要デアアルマイカ、サスレバ新規ニ増額シ、新タニ起ス所ノ費用ヲ、現在工事中ノモノニ之ヲ加ヘテ、工事ノ能率ヲ高メテ、事業ヲ速ニ進行シテ完成セシメルト云フコト

ガ利益デハアルマイカト考ルノデアリマスガ、是ハ能率上ニ於テ俄ニ現在ノ工事中ノモノニ増加スルコトガ許サレヌト云フ意味カラ來タノデアリマスルカ、又單ニ斯クセザレバ改修工事に已ムヲ得ヌト云フ所ノ、何カ御考カラ生ジタル譯ナノデアリマスカ、其點ニ付テ一遍參考ニ承リ置キタイノデアリマス

○俄政府委員 其點ハ常ニ起ル問題デアルヤウデアリマス、或ハ御説ノ通りニ其仕事ノ能率カラ申シマスルト、成ベク片詰メテ仕事スル方ガ、其仕事ヲ舉ゲル經濟的ニ工事ノ完成ヲ期スル上ニ於テハ必要デアリマセウ、併ナガラ唯單ニ經濟的ノミニ依テ河川ノ分配ヲスルコトガ出來能ハザル事情ガアリマスルノハ、詰リ緩急問題デス、若シ能率トカ工事ノ經濟ト云ヒマスレバ、御説ノ通り片詰メテスルノガ宜シウゴザイマセウガ、併シミス、地方ニ非常ナ水害ガアル、ソレヲ抛ッテ置クコトガ出來ヌ、若シ抛ッテ置クナラバ、其地方ノ人民ガ非常ナル被害甚大ナル被害ヲ受ケルト云フコトニナルト云フト、ドウモ小部分ノ河川ニ集中スルト云フコトハ爲シ能ハザルコトガ生ジテ來ル、此場合ニ於テハ若シ經濟ガ許シテ、ソレヲモノハ悉ク新規財源ヲ以テ支辨シ能フナラバ格別、財源ニ限リアルナラバ、ドウシテモ勢ヒ別ナ財源ヲ以テ既往ノ著手中ノ仕事ノ費用ヲ増加シテ

完成スルヨリハ、新ラシキ地方ノ非常ニ困ル——其被害ノ狀況ニ應ジテ新規ノ河川ノ改修工事ヲスルト云フコトハ、是ハ已ムヲ得ヌコト、思フノデアリマス、即チ今回新シキ河川ヲ擇ンダノモ、詰リ仕事ノ緩急デス、從來ヤッテ居ル所ノモノト同等ノ河川ノ被害ノ實績ニ鑑ミテ、其改修ノ必要ガアル、斯ウ政府ガ見マシタカラ矢張新シキ財源ガ若干都合ノ付イタ其限度ニ於テ、之ヲ既往ノ河川ニ増加スルト云フコトヲセズシテ、新規ノ河川ニソレヲ分配シタト云フコトニ相成ル、之ヲ要スルノニ其工事ノ緩急被害ノ狀況ニ應ジテ之ヲ分配スルト云フコトニ外ナラヌデス、唯經濟的若クハ能率ト云フコトニノミ考ヘ

年々改修工事ヲ増加スルコトハ已ムヲ得ヌト云フコトニナルノデ、其例ヲ以テ推シマスレバ、此所數年間ト云フモノハ財政ノ許セル限り河川改修ノ箇所即チ其數ガ自ラ殖エルコトハ已ムヲ得ヌト云フコトニ歸著スルモノト考ヘルノデスガ、左様心得テ差支ナイノデスカ

ハ御説ノ通りニ砂防費ハ合計シテアリマス、各目明細書ニ内譯ガアリハシマセヌカ

○竹原委員 必ズシモ只今デナクテモ宜シウゴザイマス、見當ラヌヤウデアリマス

○俄政府委員 内譯ガ御入用ナラバ後デ御示シ致シマセウ

ルナラバ、御説ノ通り若シ茲ニ若干ノ財源ガアリトスルナラバ、既ニ著手中ノモノ、年度ヲ繰上ゲルカ、或ハ其他ノ方法ヲ以テ早く完成スルト云フコトガ必要ニナッテ來ルデアリマセウガ、今申上ゲル通り被害ノ狀況ニ應ジ、殊ニ緩急ヲ圖ッテスル、ソレヲ繰上ゲルヨリハ新シキ方ガ地方ノ被害ヲ防止スルニ必要デアル、斯ウ見タカラデアリマス

○俄政府委員 ソレハ先刻申シタ如ク其時ノ河川ノ被害狀況ニ依ルコトデアリマシテ、現ニ只今工事中ノ河川ヨリハ、被害ガ劣ッテ居リ、其著手ノ必要モ劣ッテ居ルト見レバ、ソレヲ増加セズ、既往ノ工事ヲ繰上ゲ之ニ工費ヲ充テルト斯ウナリマセウシ、サウデナイ場合ニ於テハ、今申サウナコトニナリマセウ、是ハ何モ其時ノ緩急狀況如何ニ依テ之ヲ決スルノ外ハアリマセヌ、サウ云フ方針ダト云フコトヲ申上ゲルコトハ出來ナイ、事實ガ之ヲ支配スル、サウ云フコトニ御承知置キテ願ヒタイ

○加藤委員 今序デゴザイマスカラ一二御伺ヒシタイノデスガ、御許シテ願ヒマス、鈴木參與官ニ一寸御伺ヒ申上ゲタイノデスガ、此間ノ御説明中ニアリマシタ此行政區劃ノ境域トナッテ居リマスル所ノ川ハ、今全國ニハナンボ位ゴザイマセウカ

○鈴木政府委員 全部ヲ舉ゲマスト可ナリアラウト存ジマス、只今内務大臣ガ管理シテ居リマスモノハ三川デアリマス、ソレハ木曾川、岐阜、愛知、三重、三縣ニ跨ッテ居ルモノトシテ扱ッテ居リマス、ソレカラ淀川、是ハ滋賀、京都、大阪ノ三府縣ニ跨ッテ居ルモノトシテ扱ッテ居リマス、ソレカラ利根、渡良瀬兩川是ハ東京、埼玉、千葉、茨城、群馬、栃木此六府縣ニ跨ッテ居ルモノトシテ扱ッテ居リマス

○竹原委員 今ノ御説明デアリマス現在ノ工事中ノモノヨリ、更ニ急ヲ感ズルモノニ遭遇シタナラバ已ムヲ得ヌコトデアルカラ、新タニ改修工事ヲ起ス、此意味デ進ミマスト後來ハ今謂フ現在以上ニ急ヲ感ズルモノガアレバ、

○竹原委員 十六年度豫算綱要ト云フモノニハ、手取川ノ砂防工事ト云フモノガ舉ゲテアリマス、内務省所管ノ豫算ニモ這入ッテ居リマスガ、此砂防費ト云フ大藏省カラ豫算綱要ノ内譯ハ何處カニアルノカ存ジマセヌガ、此砂防費ト云フ中ニハ内譯ガナイノデアリマスガ、此三川ハ唯砂防費ノ工事費ト云フ中ヘ包含セラレテアルト見テ宜シイノデアリマセウカ

○加藤委員 第六條ノ「但シ他府縣ノ利益ヲ保全スル爲必要ト認ムルトキハ主務大臣ニ於テ代テ之ヲ管理シ又ハ其ノ維持修繕ヲナスコトヲ得」トゴザイマスガ、大府津ノ管理ハ、是ハ詰リ政府ノ御所見デハ、矢張他府縣ニハ跨ッテ居ラヌ

○俄政府委員 豫算經費要求書ノ中ニ

○俄政府委員 豫算經費要求書ノ中ニ

○俄政府委員 豫算經費要求書ノ中ニ

モノト御覽ニナルノデアリマスカ

○鈴木政府委員 信濃川全體トシマス
レバ他府縣ニ跨ッテ居ルノデゴザイマ
スケレドモ、御承知ノ通り河川改修ナ
ドヲ致シマス時分ニ、凡ソ場所ヲ指定
シテヤリマスノハ、兩府縣ニ跨ッテ居リ
マセヌ時分ニハ、其府縣限リノモノトシ
テ扱ッテ居リマス、デアリマスカラ信濃
川全體ニ互ッタ時分ニハ兩府縣ニ跨ッ
モノデアリマセウケレドモ、御示シノ大
河津ハ新潟縣ニノミ屬シテ、上流ニハ關
係ナイモノデアリマスカラ、是ハ一府
縣ノモノトシテ扱ッテ居ル譯デアリマ
ス、隨テ此條文ノ改正ガ必要ト存ジタ
譯デアリマス

〔速記中止〕

○加藤委員 大河津分水ガ内務省ノ所
管ニナリマス、其費用ハ三分ノ二ハ
地方廳ニ負擔セシメ、其一ツヲ支辨ヲ
ナサルト云フコトデアリマシタガ、若
シ是ガ全部地方廳ニ管理ヲセシメル
ト云フ場合ニハ、其管理費ハ何處カラ支辨
スルコトニナリマス、ソレヲ御伺申
シタイ

○鈴木政府委員 ソレハ府縣ノ負擔ニ
ナル譯デアリマス

○加藤委員 府縣ガ其費用ヲ全部出ス
ト云フコトニ於テ力ノ足りナイ場合ニ、
之ヲ主務省ニ補助ヲ申請シタ時ニ於テ
ハ、主務省ハ如何ナル御取扱ヲナサイ
マス、御伺申上ゲタイ

○鈴木政府委員 御示ノヤウナ場合ニ

於キマシテ、國トシテハ補助スル規定
カ無イノデアリマス、但シ河川法ノ第
六條ノ但書ニ依リマシテ、主務大臣ニ
於テ河川ノ管理若クハ其維持修繕ヲ爲
ス場合ニ於テハ國庫ニ於キマシテ、其
費用ノ全部若クハ一部ヲ負擔スルコト
ガ出來ル規定ニナッテ居リマス、然ラザ
ル場合ニ於テハ出來ナイコト、御諒承
ヲ願ヒタウゴザイマス

○加藤委員 一先ゾ私ノ質問ハ是デ打
切リマス

○鈴木政府委員 先程寺田市正君ノ御
質問ガアリマシテ、九州ノ大淀川、肝
川、川内川、以上三川ニ付テ詳シイ數字
上ノ御説明ヲ求メラレマシタノデアリ
マス、是ハ第二期治水調査會ヲ開キマ
シテ、其河川ヲ決定致シマス場合ニ標
準トシテ調べタモノガアルノデアリマ
ス、其詳シイ數字ハ只今持合セガアリ
マスガ、順位ダケハ明ニ分ッテ居ルノデ
アリマス、此順位ハ各種ノ項目ニ付テ
一應調査ヲ致シテアリマス、水害損失
ノ順位ハ如何、治水費ノ順位ハ如何、更
ニ此二ツノ項目ノ綜合順位ハ如何、ソ
レカラ更ニ進ンデ水害區域ノ面積ノ順
位ハ如何、其河ノ平地面積ノ順位ハ如
何、而シテ此二ツノ項目ノ綜合順位ハ
如何ト云フコトデアリマシテ、前段ノ
綜合順位ト、後段ノ綜合順位トヲ更ニ
綜合シテ順位ヲ拵ヘレバ、何番目ニナ
ルカト云フコトヲ各河川ニ付テ調べタ
物ガアルノデアリマス、是ハ後程寺田

サンノ御手許迄差上ゲマスガ、大體ニ
於キマシテ前段ノ順位、即チ水害損失
順位及治水順位ノ綜合順位ハ、肝屬川
ガ六十二番目デ、大淀川ガ八十四番目、
川内川ガ九十五番目デアリマス、後段
ノ綜合順位ニ付テ見マスルノニ、水害
區域順位及其平地面積順位ヲ綜合致シ
マシテ、大淀川ガ十六番目、川内川ガ二
十四番目、肝屬川ガ四十七番目、以上前
段後段ノ順位ヲ更ニ綜合シテ見マス
ルト云フト、第二期河川ノ中ニ於テ大
淀川ハ四十三番目ニ當リマス、肝屬川
ガ五十一番目ニ當リマス、川内川ハ五
十七番目ニ當リマス、此調査表ハ御手
許ニ差上ゲマス

○寺田委員 只今ノ御説明デ大體諒承
シマシタ、尙ホンノ形式手續ダケデア
リマスガ、一寸御尋シテ置キタイ、此本
案ノ改正案デ第六條中ノ「主務大臣カ
自ラ河川ニ關スル工事ヲ施行シタルモ
ノニ付必要ト認ムルトキ」ト云フ必要
ト認メル其形式ハ、是ハ内務省カラ地
方廳ニデモ御通牒ニナルノデアリマス
カ、唯内務省デ認メレバ其儘ボツ御ヤ
リニナルノデスカ、形式上一應伺ッテ置
キタイ

○鈴木政府委員 御示ノ如キ場合ニ於
キマシテ、若シ必要ヲ認メレバ地方廳
ヘ無論通牒ヲ致シマシテ、而シテ同時
ニ其旨ヲ官報デ告示サセルコトニナッ
テ居リマス

○寺田委員 此五十八條ノ如キハ、是

ハ刑法ノ詰リ改正デアリマシテ、自然
ノ改正デアリマスガ、從來ノヲ見マス
ト懲役ガナイノデアリマス、一年以下
ノ懲役ガナイ、今度刑法ニ依テ懲役ト
云フモノニナッタノデアリマス、サウス
ルト禁錮ガ懲役ニ代リマシテ、重イノ
ガ一ツ加ハル譯ニナリマスガ、是ハド
ウ云フ譯デアリマス、ソレカラモウ
一ツハ六十六條ノ削除デアリマスガ、
從來ノ水害土木費ノ負擔ニ付テ慣例ヲ
御廢メニナルノハ、是ハ此間御説明ガ
アリマシタガ一寸附加ヘテ御説明ヲ願
ヒタイ

○鈴木政府委員 五十八條中ノ改正及
六十六條削除ハ甚ダ遅クナリマシテ、
實ハ申譯ノナイ事デアリマスガ、條文
整理上已ムヲ得ズサウ云フ事ヲ致シタ
ノデアリマス、即チ今ノ現行刑法ガ出
來マシタ時分ニ、懲役ト云フ刑ガ出
マシタノハ無論デアリマスガ、禁錮ト
申シマスノハ舊刑法ニ於キマシテハ重
禁錮ト輕禁錮ニ分レテ居リマス、此分
レテ居リマシタ二ツノ禁錮ノ中、重禁
錮ト云フモノガ新刑法ノ有期懲役ニ當
ルノデアリマス、輕禁錮ト云フモノガ
現在アル所ノ有期禁錮ニ當ルノデアリ
マスルカラ、此二ツヲ舊刑法ニ於テ一
緒ニ規定シテアリマシタ、故ニ新刑法
ガ出來マシタト同時ニ此法律ヲ改メナ
クテハナラナカッタノデアリマスガ、今
日迄其手續ハ致シテ居リマセヌ、依テ
重禁錮ニ當ル者ヲ懲役トシ、輕禁錮ニ

當ル者ヲ禁錮ト直ス意味ニ於テ此改正案ノ通りニ致シタ次第デアリマス、而シテ今迄ハ罰金ノ額ヲ表示スルニハ二百圓以內ト云フ字ヲ用キマシタガ、是カラハ以下ト云フ字ニ變ルコトニナリマシタ次第デアリマス、ソレカラ六十

六條ハ是ハ從來此府縣ノ災害土木費ト云フモノヲ國ガ一部ヲ補助スルト云フ慣例ガアツテ、其慣例ヲ河川法ニ採用致シテ居タ、所ガ是ハ慣例ノミニ任シテ置イテハ何トナク曖昧デ惡イカラト云フノデ、明治四十四年ニ明ニ明文ヲ以テマシテ「政府ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ府縣災害土木費ノ一部ヲ補助スルコトヲ得」ト云フ法律ヲ別ニ發布致シマシタカラ、此慣例ヲ採用スルト云フコトヲ六十六條ニ謳フ必要ハ無クナツタ

ノデアリマス、外國人居留地ノ河川ニ於ケル慣例モ、是ハ居留地ト云フモノガ無クナリマシタカラ、此慣例ヲ謳フ必要ガ無クナリマシタカラ削除シタト云フ、單純ナ理由ニ過ギナカッタノデアリマス

○寺田委員 大體質問ヲ終リマシタガ、私ハ先刻鈴木政府委員ガ喝破セラレタヤウニ、川内川ノ河川改修速成ニ關スル建議案ヲ提出シタノデアリマスガ、其他多數同僚議員諸君ヨリ河川ニ關スル種々ノ建議案ガ出テ居リマス、何レ本會ニ上リマシタ後ニ於テハ本委員會ニ併セ付託ニナルコト、思ッテ居リマス、サウ云フ場合ニハ政府委員ニ於カレマシテモ、恰モ本案ノ審議ニ於ケルガ如ク、速ニ御出席下サイマシテ、懇切ナル御説明ヲ御願スルト云フ希望ヲ申上ゲテ、今日ハ此程度デ質問ヲ終了シテハ如何デス

○竹原委員 河川改修施行上ノ從來ノ振合ヲ見マスト云フト、此國庫ト地方トノ費用ノ分擔デアリマスルガ、例ヘバ十年間ニ互ルモノヲ其前五箇年ガ地方費ノ歩合ヲ多クシテ、國庫ノ負擔ヲ輕クシテ居ルト云フヤウナコトハ、大抵一般ノ各地ノ河川施行上ノ實際ノ實例ノヤウニナツテ居リマスルガ、是ハ必シモ其十年ノ中五年トカ三年ハ地方費ヲ多クシテ、國費ヲ輕クスルト云フコトハ一ツノ例規ニ非ズシテ、唯國庫財政ノ都合上斯ウ云フ分擔法ヲ年度割ニ御定メニナル譯デアリマス、又必シモ十年ナラバ其前半期ニ於テハ地方費ノ負擔ノ歩合ヲ多クスルト云フコトガ、何カ政府ノ負擔法ニ例規トカ習慣ト云フヤウナモノデモアリマシテ、サウ云フコトニナツテ居リマスノデスカ

○鈴木政府委員 只今竹原サンノ御質問ハ、實ハ此治水事業ノ費用負擔ニ關スル急所ナンデス、私モ御同感ニ思フノデス、今ノ如クニシテ地方費ガ先デアツテ、國費ガ最初ハ少クテ後ガ非常ニドエライモノガ參ッテ來ルト云フコトニナレバ、國費ノ分擔比例ト云フモノハ丁度末廣ガリノ形ニナリマシテ、甚ダ宜シクナイ結果ヲ招來スルデハナイカト

思フノデアリマス、何分國家財政ノ都合上均一ニ國費ト地方費ト相俟ッテ同ジヤウナ額デヤツテ行クト云フコトハ出來難イノデアリマス、ソレカト云ウテ何時迄モ打遣ッテ置ケバ地方ノ地元ニ於テハ何故早クシテ呉レヌカ、立替テモヤリタイ、先程藤田サンノ御話ノ如ク、縣ハ起債シテモヤルカラ、後カラ其分ヲ呉レ、バ宜イト云フヤウナ熱烈ナル要求ガアリマス爲ニ、自然サウ云フ結果ヲ招イテ來ルノデアリマシテ、財政ノ健全ナルコトカラ申シマスレバ、御示ノ通りニ末廣ガリニナルト云フコトハ餘リ好マシイコトデハナイガ、已ムヲ得ズサウ云フコトニナツテ居ル次第デアリマス、カラシテ、國家財政ニ餘裕ヲ生ズル場合ニ於テモ、是ハ段々ニ末廣ガリノ程度ヲ縮ムベキ性質ノモノデアルト思ッテ居リマス、

○竹原委員 甚ダ穿ッタヤウデスガ、逆ニ一遍御尋申上ゲテ置キマス、事業ノ最モ急要ヲ感ズル場合、地方財政ノ狀況ガ之ニ應ズルニ苦ムト云フヤウナ時ニ遭遇シタ際ニ國庫ノ財政ニ餘裕ガアルトスレバ、現在ノ有様ヲ逆ニ、即チ十年ノモノナラバ上五年間ニ於テ國庫ノ負擔ヲ重クスルト云フコトモ、財政ノ狀況ニ依テハ必ズ出來ナイモノトモ限ラヌモノデアリマセウ

○鈴木政府委員 其點ハ同様ニ私共考ヘテ居リマス、ソレト是トハ少シク變リマス、ケレドモ、例ヘバ災害復舊土木費ノ如キハ、國庫カラ一度ニ出シテシマウト云フヤウナ形ノモノガアリマス、ソレトハ勿論只今御述ベノ議論トハマルデ別ナ事ヲ御話スルノデアリマスガ、ソレ等ノ事ヲ考ヘルノデアリマシテ、サウ云フ事ガ財政ノ餘裕アル時ニハアリ得ルコトハ勿論デアルト思ヒマス、ソレニ關聯シテ竹原君ガ先程御話ノアリマシタ通り、サウ全國ニ廣ゲヌデ、片端カラヤツテ行ッタラドウカト云フ御議論デアリマス、是ハ其通りデアリマス、ケレドモ、是ハ何時ノ内閣ノ時代カラカ始ッタコトデアツテ、竹原君ナドハ能ク御承知デアリマセウガ、總花式デ、ソレガ一度開カレルト、ドウシテモ後デハ緊縮スルコトガ出來ナイ、一番初ニ總花式ヲ止メテ一河川宛片付ケテ行クトニスレバ、費用モ少クテ済ム、所ガ總花式デアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナカッタ事情モアリマセウガ、其事情ヲ取除ケバ初メテヤツタ人ニ多少罪ガアルト云フ譯デ、或ハサウ後ニ殘ラヌカト云フコトモ言ヒ得ル次第デアリマスガ、是ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ加藤サン、先程信濃川ノ維持費ノ金額ダケヲ申上ゲマシタガ、割合ハ實ハ色々内容ガアリマシタカラ、補助ノトハ歩合ガ違ヒハシナイカト思ヒマシタカラ、今調べマシタ所ガ、國費ハ工事費ノ三分ノ一ニナツテ居リマス、外ニ事務費ヲ負擔スル

シテモ、恰モ本案ノ審議ニ於ケルガ如ク、速ニ御出席下サイマシテ、懇切ナル御説明ヲ御願スルト云フ希望ヲ申上ゲテ、今日ハ此程度デ質問ヲ終了シテハ如何デス

○鈴木政府委員 其點ハ同様ニ私共考ヘテ居リマス、ソレト是トハ少シク變リマス、ケレドモ、例ヘバ災害復舊土木費ノ如キハ、國庫カラ一度ニ出シテシマウト云フヤウナ形ノモノガアリマス、ソレトハ勿論只今御述ベノ議論トハマルデ別ナ事ヲ御話スルノデアリマスガ、ソレ等ノ事ヲ考ヘルノデアリマシテ、サウ全國ニ廣ゲヌデ、片端カラヤツテ行ッタラドウカト云フ御議論デアリマス、是ハ其通りデアリマス、ケレドモ、是ハ何時ノ内閣ノ時代カラカ始ッタコトデアツテ、竹原君ナドハ能ク御承知デアリマセウガ、總花式デ、ソレガ一度開カレルト、ドウシテモ後デハ緊縮スルコトガ出來ナイ、一番初ニ總花式ヲ止メテ一河川宛片付ケテ行クトニスレバ、費用モ少クテ済ム、所ガ總花式デアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナカッタ事情モアリマセウガ、其事情ヲ取除ケバ初メテヤツタ人ニ多少罪ガアルト云フ譯デ、或ハサウ後ニ殘ラヌカト云フコトモ言ヒ得ル次第デアリマスガ、是ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ加藤サン、先程信濃川ノ維持費ノ金額ダケヲ申上ゲマシタガ、割合ハ實ハ色々内容ガアリマシタカラ、補助ノトハ歩合ガ違ヒハシナイカト思ヒマシタカラ、今調べマシタ所ガ、國費ハ工事費ノ三分ノ一ニナツテ居リマス、外ニ事務費ヲ負擔スル

○鈴木政府委員 其點ハ同様ニ私共考ヘテ居リマス、ソレト是トハ少シク變リマス、ケレドモ、例ヘバ災害復舊土木費ノ如キハ、國庫カラ一度ニ出シテシマウト云フヤウナ形ノモノガアリマス、ソレトハ勿論只今御述ベノ議論トハマルデ別ナ事ヲ御話スルノデアリマスガ、ソレ等ノ事ヲ考ヘルノデアリマシテ、サウ全國ニ廣ゲヌデ、片端カラヤツテ行ッタラドウカト云フ御議論デアリマス、是ハ其通りデアリマス、ケレドモ、是ハ何時ノ内閣ノ時代カラカ始ッタコトデアツテ、竹原君ナドハ能ク御承知デアリマセウガ、總花式デ、ソレガ一度開カレルト、ドウシテモ後デハ緊縮スルコトガ出來ナイ、一番初ニ總花式ヲ止メテ一河川宛片付ケテ行クトニスレバ、費用モ少クテ済ム、所ガ總花式デアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナカッタ事情モアリマセウガ、其事情ヲ取除ケバ初メテヤツタ人ニ多少罪ガアルト云フ譯デ、或ハサウ後ニ殘ラヌカト云フコトモ言ヒ得ル次第デアリマスガ、是ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ加藤サン、先程信濃川ノ維持費ノ金額ダケヲ申上ゲマシタガ、割合ハ實ハ色々内容ガアリマシタカラ、補助ノトハ歩合ガ違ヒハシナイカト思ヒマシタカラ、今調べマシタ所ガ、國費ハ工事費ノ三分ノ一ニナツテ居リマス、外ニ事務費ヲ負擔スル

○鈴木政府委員 其點ハ同様ニ私共考ヘテ居リマス、ソレト是トハ少シク變リマス、ケレドモ、例ヘバ災害復舊土木費ノ如キハ、國庫カラ一度ニ出シテシマウト云フヤウナ形ノモノガアリマス、ソレトハ勿論只今御述ベノ議論トハマルデ別ナ事ヲ御話スルノデアリマスガ、ソレ等ノ事ヲ考ヘルノデアリマシテ、サウ全國ニ廣ゲヌデ、片端カラヤツテ行ッタラドウカト云フ御議論デアリマス、是ハ其通りデアリマス、ケレドモ、是ハ何時ノ内閣ノ時代カラカ始ッタコトデアツテ、竹原君ナドハ能ク御承知デアリマセウガ、總花式デ、ソレガ一度開カレルト、ドウシテモ後デハ緊縮スルコトガ出來ナイ、一番初ニ總花式ヲ止メテ一河川宛片付ケテ行クトニスレバ、費用モ少クテ済ム、所ガ總花式デアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナカッタ事情モアリマセウガ、其事情ヲ取除ケバ初メテヤツタ人ニ多少罪ガアルト云フ譯デ、或ハサウ後ニ殘ラヌカト云フコトモ言ヒ得ル次第デアリマスガ、是ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ加藤サン、先程信濃川ノ維持費ノ金額ダケヲ申上ゲマシタガ、割合ハ實ハ色々内容ガアリマシタカラ、補助ノトハ歩合ガ違ヒハシナイカト思ヒマシタカラ、今調べマシタ所ガ、國費ハ工事費ノ三分ノ一ニナツテ居リマス、外ニ事務費ヲ負擔スル

○鈴木政府委員 其點ハ同様ニ私共考ヘテ居リマス、ソレト是トハ少シク變リマス、ケレドモ、例ヘバ災害復舊土木費ノ如キハ、國庫カラ一度ニ出シテシマウト云フヤウナ形ノモノガアリマス、ソレトハ勿論只今御述ベノ議論トハマルデ別ナ事ヲ御話スルノデアリマスガ、ソレ等ノ事ヲ考ヘルノデアリマシテ、サウ全國ニ廣ゲヌデ、片端カラヤツテ行ッタラドウカト云フ御議論デアリマス、是ハ其通りデアリマス、ケレドモ、是ハ何時ノ内閣ノ時代カラカ始ッタコトデアツテ、竹原君ナドハ能ク御承知デアリマセウガ、總花式デ、ソレガ一度開カレルト、ドウシテモ後デハ緊縮スルコトガ出來ナイ、一番初ニ總花式ヲ止メテ一河川宛片付ケテ行クトニスレバ、費用モ少クテ済ム、所ガ總花式デアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナカッタ事情モアリマセウガ、其事情ヲ取除ケバ初メテヤツタ人ニ多少罪ガアルト云フ譯デ、或ハサウ後ニ殘ラヌカト云フコトモ言ヒ得ル次第デアリマスガ、是ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ加藤サン、先程信濃川ノ維持費ノ金額ダケヲ申上ゲマシタガ、割合ハ實ハ色々内容ガアリマシタカラ、補助ノトハ歩合ガ違ヒハシナイカト思ヒマシタカラ、今調べマシタ所ガ、國費ハ工事費ノ三分ノ一ニナツテ居リマス、外ニ事務費ヲ負擔スル

○鈴木政府委員 其點ハ同様ニ私共考ヘテ居リマス、ソレト是トハ少シク變リマス、ケレドモ、例ヘバ災害復舊土木費ノ如キハ、國庫カラ一度ニ出シテシマウト云フヤウナ形ノモノガアリマス、ソレトハ勿論只今御述ベノ議論トハマルデ別ナ事ヲ御話スルノデアリマスガ、ソレ等ノ事ヲ考ヘルノデアリマシテ、サウ全國ニ廣ゲヌデ、片端カラヤツテ行ッタラドウカト云フ御議論デアリマス、是ハ其通りデアリマス、ケレドモ、是ハ何時ノ内閣ノ時代カラカ始ッタコトデアツテ、竹原君ナドハ能ク御承知デアリマセウガ、總花式デ、ソレガ一度開カレルト、ドウシテモ後デハ緊縮スルコトガ出來ナイ、一番初ニ總花式ヲ止メテ一河川宛片付ケテ行クトニスレバ、費用モ少クテ済ム、所ガ總花式デアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナカッタ事情モアリマセウガ、其事情ヲ取除ケバ初メテヤツタ人ニ多少罪ガアルト云フ譯デ、或ハサウ後ニ殘ラヌカト云フコトモ言ヒ得ル次第デアリマスガ、是ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ加藤サン、先程信濃川ノ維持費ノ金額ダケヲ申上ゲマシタガ、割合ハ實ハ色々内容ガアリマシタカラ、補助ノトハ歩合ガ違ヒハシナイカト思ヒマシタカラ、今調べマシタ所ガ、國費ハ工事費ノ三分ノ一ニナツテ居リマス、外ニ事務費ヲ負擔スル

○鈴木政府委員 其點ハ同様ニ私共考ヘテ居リマス、ソレト是トハ少シク變リマス、ケレドモ、例ヘバ災害復舊土木費ノ如キハ、國庫カラ一度ニ出シテシマウト云フヤウナ形ノモノガアリマス、ソレトハ勿論只今御述ベノ議論トハマルデ別ナ事ヲ御話スルノデアリマスガ、ソレ等ノ事ヲ考ヘルノデアリマシテ、サウ全國ニ廣ゲヌデ、片端カラヤツテ行ッタラドウカト云フ御議論デアリマス、是ハ其通りデアリマス、ケレドモ、是ハ何時ノ内閣ノ時代カラカ始ッタコトデアツテ、竹原君ナドハ能ク御承知デアリマセウガ、總花式デ、ソレガ一度開カレルト、ドウシテモ後デハ緊縮スルコトガ出來ナイ、一番初ニ總花式ヲ止メテ一河川宛片付ケテ行クトニスレバ、費用モ少クテ済ム、所ガ總花式デアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナカッタ事情モアリマセウガ、其事情ヲ取除ケバ初メテヤツタ人ニ多少罪ガアルト云フ譯デ、或ハサウ後ニ殘ラヌカト云フコトモ言ヒ得ル次第デアリマスガ、是ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ加藤サン、先程信濃川ノ維持費ノ金額ダケヲ申上ゲマシタガ、割合ハ實ハ色々内容ガアリマシタカラ、補助ノトハ歩合ガ違ヒハシナイカト思ヒマシタカラ、今調べマシタ所ガ、國費ハ工事費ノ三分ノ一ニナツテ居リマス、外ニ事務費ヲ負擔スル

○鈴木政府委員 其點ハ同様ニ私共考ヘテ居リマス、ソレト是トハ少シク變リマス、ケレドモ、例ヘバ災害復舊土木費ノ如キハ、國庫カラ一度ニ出シテシマウト云フヤウナ形ノモノガアリマス、ソレトハ勿論只今御述ベノ議論トハマルデ別ナ事ヲ御話スルノデアリマスガ、ソレ等ノ事ヲ考ヘルノデアリマシテ、サウ全國ニ廣ゲヌデ、片端カラヤツテ行ッタラドウカト云フ御議論デアリマス、是ハ其通りデアリマス、ケレドモ、是ハ何時ノ内閣ノ時代カラカ始ッタコトデアツテ、竹原君ナドハ能ク御承知デアリマセウガ、總花式デ、ソレガ一度開カレルト、ドウシテモ後デハ緊縮スルコトガ出來ナイ、一番初ニ總花式ヲ止メテ一河川宛片付ケテ行クトニスレバ、費用モ少クテ済ム、所ガ總花式デアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナカッタ事情モアリマセウガ、其事情ヲ取除ケバ初メテヤツタ人ニ多少罪ガアルト云フ譯デ、或ハサウ後ニ殘ラヌカト云フコトモ言ヒ得ル次第デアリマスガ、是ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ加藤サン、先程信濃川ノ維持費ノ金額ダケヲ申上ゲマシタガ、割合ハ實ハ色々内容ガアリマシタカラ、補助ノトハ歩合ガ違ヒハシナイカト思ヒマシタカラ、今調べマシタ所ガ、國費ハ工事費ノ三分ノ一ニナツテ居リマス、外ニ事務費ヲ負擔スル

○鈴木政府委員 其點ハ同様ニ私共考ヘテ居リマス、ソレト是トハ少シク變リマス、ケレドモ、例ヘバ災害復舊土木費ノ如キハ、國庫カラ一度ニ出シテシマウト云フヤウナ形ノモノガアリマス、ソレトハ勿論只今御述ベノ議論トハマルデ別ナ事ヲ御話スルノデアリマスガ、ソレ等ノ事ヲ考ヘルノデアリマシテ、サウ全國ニ廣ゲヌデ、片端カラヤツテ行ッタラドウカト云フ御議論デアリマス、是ハ其通りデアリマス、ケレドモ、是ハ何時ノ内閣ノ時代カラカ始ッタコトデアツテ、竹原君ナドハ能ク御承知デアリマセウガ、總花式デ、ソレガ一度開カレルト、ドウシテモ後デハ緊縮スルコトガ出來ナイ、一番初ニ總花式ヲ止メテ一河川宛片付ケテ行クトニスレバ、費用モ少クテ済ム、所ガ總花式デアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナカッタ事情モアリマセウガ、其事情ヲ取除ケバ初メテヤツタ人ニ多少罪ガアルト云フ譯デ、或ハサウ後ニ殘ラヌカト云フコトモ言ヒ得ル次第デアリマスガ、是ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ加藤サン、先程信濃川ノ維持費ノ金額ダケヲ申上ゲマシタガ、割合ハ實ハ色々内容ガアリマシタカラ、補助ノトハ歩合ガ違ヒハシナイカト思ヒマシタカラ、今調べマシタ所ガ、國費ハ工事費ノ三分ノ一ニナツテ居リマス、外ニ事務費ヲ負擔スル

○鈴木政府委員 其點ハ同様ニ私共考ヘテ居リマス、ソレト是トハ少シク變リマス、ケレドモ、例ヘバ災害復舊土木費ノ如キハ、國庫カラ一度ニ出シテシマウト云フヤウナ形ノモノガアリマス、ソレトハ勿論只今御述ベノ議論トハマルデ別ナ事ヲ御話スルノデアリマスガ、ソレ等ノ事ヲ考ヘルノデアリマシテ、サウ全國ニ廣ゲヌデ、片端カラヤツテ行ッタラドウカト云フ御議論デアリマス、是ハ其通りデアリマス、ケレドモ、是ハ何時ノ内閣ノ時代カラカ始ッタコトデアツテ、竹原君ナドハ能ク御承知デアリマセウガ、總花式デ、ソレガ一度開カレルト、ドウシテモ後デハ緊縮スルコトガ出來ナイ、一番初ニ總花式ヲ止メテ一河川宛片付ケテ行クトニスレバ、費用モ少クテ済ム、所ガ總花式デアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナカッタ事情モアリマセウガ、其事情ヲ取除ケバ初メテヤツタ人ニ多少罪ガアルト云フ譯デ、或ハサウ後ニ殘ラヌカト云フコトモ言ヒ得ル次第デアリマスガ、是ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ加藤サン、先程信濃川ノ維持費ノ金額ダケヲ申上ゲマシタガ、割合ハ實ハ色々内容ガアリマシタカラ、補助ノトハ歩合ガ違ヒハシナイカト思ヒマシタカラ、今調べマシタ所ガ、國費ハ工事費ノ三分ノ一ニナツテ居リマス、外ニ事務費ヲ負擔スル

○鈴木政府委員 其點ハ同様ニ私共考ヘテ居リマス、ソレト是トハ少シク變リマス、ケレドモ、例ヘバ災害復舊土木費ノ如キハ、國庫カラ一度ニ出シテシマウト云フヤウナ形ノモノガアリマス、ソレトハ勿論只今御述ベノ議論トハマルデ別ナ事ヲ御話スルノデアリマスガ、ソレ等ノ事ヲ考ヘルノデアリマシテ、サウ全國ニ廣ゲヌデ、片端カラヤツテ行ッタラドウカト云フ御議論デアリマス、是ハ其通りデアリマス、ケレドモ、是ハ何時ノ内閣ノ時代カラカ始ッタコトデアツテ、竹原君ナドハ能ク御承知デアリマセウガ、總花式デ、ソレガ一度開カレルト、ドウシテモ後デハ緊縮スルコトガ出來ナイ、一番初ニ總花式ヲ止メテ一河川宛片付ケテ行クトニスレバ、費用モ少クテ済ム、所ガ總花式デアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナカッタ事情モアリマセウガ、其事情ヲ取除ケバ初メテヤツタ人ニ多少罪ガアルト云フ譯デ、或ハサウ後ニ殘ラヌカト云フコトモ言ヒ得ル次第デアリマスガ、是ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ加藤サン、先程信濃川ノ維持費ノ金額ダケヲ申上ゲマシタガ、割合ハ實ハ色々内容ガアリマシタカラ、補助ノトハ歩合ガ違ヒハシナイカト思ヒマシタカラ、今調べマシタ所ガ、國費ハ工事費ノ三分ノ一ニナツテ居リマス、外ニ事務費ヲ負擔スル

○鈴木政府委員 其點ハ同様ニ私共考ヘテ居リマス、ソレト是トハ少シク變リマス、ケレドモ、例ヘバ災害復舊土木費ノ如キハ、國庫カラ一度ニ出シテシマウト云フヤウナ形ノモノガアリマス、ソレトハ勿論只今御述ベノ議論トハマルデ別ナ事ヲ御話スルノデアリマスガ、ソレ等ノ事ヲ考ヘルノデアリマシテ、サウ全國ニ廣ゲヌデ、片端カラヤツテ行ッタラドウカト云フ御議論デアリマス、是ハ其通りデアリマス、ケレドモ、是ハ何時ノ内閣ノ時代カラカ始ッタコトデアツテ、竹原君ナドハ能ク御承知デアリマセウガ、總花式デ、ソレガ一度開カレルト、ドウシテモ後デハ緊縮スルコトガ出來ナイ、一番初ニ總花式ヲ止メテ一河川宛片付ケテ行クトニスレバ、費用モ少クテ済ム、所ガ總花式デアリマスガ、是ハ已ムヲ得ナカッタ事情モアリマセウガ、其事情ヲ取除ケバ初メテヤツタ人ニ多少罪ガアルト云フ譯デ、或ハサウ後ニ殘ラヌカト云フコトモ言ヒ得ル次第デアリマスガ、是ハ宜シク御諒承ヲ願ヒタイ、ソレカラ加藤サン、先程信濃川ノ維持費ノ金額ダケヲ申上ゲマシタガ、割合ハ實ハ色々内容ガアリマシタカラ、補助ノトハ歩合ガ違ヒハシナイカト思ヒマシタカラ、今調べマシタ所ガ、國費ハ工事費ノ三分ノ一ニナツテ居リマス、外ニ事務費ヲ負擔スル

コトニナツテ居リマス、ソレカラ大河津分水ハ昭和二年度ハ國費ノ負擔補助ハ七萬三百四十二圓、事務費ガ一萬千九百十六圓ト云フコトニナツテ居リマス、地方費ノ負擔ハ十一萬六千八百五十四圓デアリマス

○神谷委員長 一寸速記ヲ中止シマス

〔速記中止〕

○加藤委員 本日ハ質問ハ此程度ニ打止メマシテ、更ニ一回御開キアランコトヲ希望致シマス

○神谷委員長 本日ハ此程度ニ止メマシテ、次回ハ追テ公報ヲ以テ御通知申上ゲマス、今日ハ是ニテ散會致シマス

午後四時二分散會

昭和二年二月九日印刷

昭和二年二月十日發行

衆議院事務局

印刷者 民友社